

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人 麩城会  
施設名 老人保健施設 西濃  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	竹中エンジニアリング(株)	ベッドセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 3 年 9 月 6 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・下肢筋肉の低下により昼夜を通して一人での移動が危険である利用者について、ベッドから車椅子への移乗等を一人で行われる場合に使用している。
- ・ベッド上での動きが多く、転倒・転落やその他事故等のリスクを抱える利用者について、居室で過ごされる時の見守りに使用している。
- ・一人での行動が危険を伴う利用者について、ナースコールを押すことができない場合に使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・利用者が起き上がる際にセンサーが反応するため、素早く居室に向かえることで、転倒・転落事故の未然防止に繋がっている。
- ・転倒・転落リスクが高い利用者については所在確認を怠らないようにしているが、センサーマットの導入によりベッド上の動作を早めに確認することができ、介護者の精神的負担軽減に繋がっている。
- ・ナースコールを押すことができない利用者の転倒事故回避に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・事前に危険を予測し転倒・転落事故等を未然に防ぐことができるため、利用者の安全確保に寄与している。
- ・人員が少なくなる夜間帯での事故発生リスクの軽減・回避を図ることができ、職員の精神的負担が軽減されている。
- ・上記のとおり、ベッドセンサーマットは、認知症の方の介助や危険行動の予測・察知において不可欠な機器であり、利用者と職員相互の安全・安心に繋がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

- ・特にありません。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三縁の会  
施設名 サツヴァの園  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベット(株)	眠りスキャン
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 4 年 3 月 23 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・事故虐待防止対策委員会で使用している、「事故発生・ヒヤリハット」報告での転倒事故等の発生時、眠りスキャンの利用状況を明記している。また身体拘束廃止委員会での、利用者監視に使用している機器等(眠りスキャン等)の使用状況を確認し明記している。 ・看取り対象の利用者に設置し、心拍等をモニターで確認、異常があれば部屋に向かうようにしている。
- ・定期的利用者見守り時以外の、起き上がり、離床を確認し転倒や徘徊の防止に利用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・人員体制の改善(計画時目標)最低基準はクリアが条件
- \*数値目標は5年計画で全床に眠りスキャンを完備した時点の想定。(現在は100床中50床の設置)

看護職員:日中5.5人 夜勤1人→R6年2.3月実績 日中4.8人 夜勤1人  
介護職員:日中9.5人 夜勤3人→R6年2.3月実績 日中10.3人 夜勤3人

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・残業時間(看護・介護)の減少12時間(月)50%減→R6年2.3月実績 15.1時間 前年比53%
- ・夜勤の巡回回数10回50%減→R6年2.3月実績 20回 現状維持

介護ソフト「ほのぼの」に連携させて入所者の転倒、転落のケアをロボットに補助させることにより職員の負担軽減、業務効率のアップ(申し送りの標準化・情報の一元化)を目指している。現在「眠りスキャン」の設備が50台であり目標には届いていない。

- ・介護ソフト「ほのぼの」に連携する「眠りスキャン」や「アイパッド」を活用しデータの蓄積はできつつある。今後は蓄積したデータ分析を行うことで、転倒・転落防止に活用でき、職員の精神負担の軽減や事故防止にも効果が出てくる。
- ・残業時間の削減は、令和5年度がコロナクラスター発生時でもあり大幅に削減ができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

- ・離床を通知するに、タイムラグがある。部屋での確認が遅れることがある。
- ・心肺のデータ表示の精度の不信。(表示しない、誤表示)がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人羽島郡福寿会  
施設名 特別養護老人ホームリバーサイド川島園  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	キング通信工業(株)	シルエット見守りセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 3 年 11 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・他利用者の介助中にセンサーがなった際に、シルエットセンサーをとおして画像で確認し、緊急対応が必要かを判断している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・以前まではベッドセンサーなどナースコール(音)を鳴らす機器での対応しかできずコールが鳴るたびに訪室対応していたが、機器導入後は転倒などのリスク管理に対して職員が画像を通して訪室が必要かどうかを判断できるため必要のない訪室が減った。それに伴い利用者の転倒・転落等の事故のリスクを軽減できるとともに職員の肉体的・精神的負担の軽減につながり職場環境が改善できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
  - ・細かく設定した設定範囲内を超えた動きがありセンサーが反応した際には訪室しなくともシルエットセンサーの画像を通して緊急対応が必要かどうかを確認できるため他利用者様の介助中でも画像をとおして緊急性の判断がしやすくなった。
  - ・画像を通してご利用者の状況がわかるため問題に対して具体的に検討しやすくなり転倒リスクの高い利用者の転倒のリスクの軽減につながる。
  - ・不要な訪室を減らすことでご利用者の睡眠状態を改善できる。
  - ・不要な訪室を減らすことを意識することでご利用者の快適な生活の改善に対しての意識が高くなった。
- ※緊急性のないベッドセンサーの呼び出しによる必要のない訪室を1回あたり当初3分程度と予想していたが実際には5分程度の時間の削減となっています。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- ・機器設置が壁などの上部に設置するため部屋の構造やベッドの配置場所、コンセントの位置などにより使用しにくいときがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人羽島郡福寿会  
施設名 特別養護老人ホームリバーサイド川島園  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド(株)	センサー付き低床3モーターベッド
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 3 年 10 月 28 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・ご利用者においては個々の状態に合わせたセンサー設定が可能となり起き上がり時や離床等適切なタイミングでナースコールに呼び出しがされるため、転倒・転落リスクを軽減につながっている。
- ・介護職員においては転倒・転落等のリスクが高い新規入ご利用者に機器1台で最適な設定を選択・設定変更できリスク管理における精神的・身体的ストレスを改善することが可能となった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・介護職員の心理的、身体的負担の軽減できている。
- ・転倒・転落リスクのある新規ご利用者が入所した際に、ベッド上でどのようなリスクがあるか分からないため、ご利用者個々の状態に合わせたセンサー設定が可能のため、起き上がり時や離床時等の適切なタイミングでナースコールへ通知が来ることで転倒・転落等のリスクが軽減できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・危険動作の予兆を早期に検知でき、転倒転落等のリスクを軽減できる。(※すべての事故を防げてはいないが、8割程度は転倒・転落等事故を予防できている。)
- ・個々の状態に合わせたセンサー設定が可能のため利用者それぞれ適切なタイミングでのリスク管理ができている。
- ・介護職員の心理的・身体的負担を軽減できる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 美谷会  
施設名 特別養護老人ホーム飛鳥美谷苑  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)テクノスジャパン	コールマットHC-3
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 3 年 10 月 27 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

主に、車イス利用者の方6名、歩行器使用の方2名に使用している。日中・夜間等、利用者がベッドから移動する際の転倒注意の為に使用している。

基本的には、常時設置となるがベッドで休まれる際に、センサーをONにして使用している。多い利用者で、1日に10回程度ナースコールと連動して通知されている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

常時見守りが必要な利用者に対し、コールマットを使用する事で、ナースコールで声掛けを行いながら居室まで移動する事ができるため勤務する職員の精神的な負担の軽減となっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

センサー導入後にベッド付近での転倒リスクが軽減されたため、職員にゆとりが持てるようになってきた。また、転倒による怪我の発生件数も減り、報告書作成などの職員の業務負担軽減にもなっている。また、ナースコールと連動していることで、どこの部屋で誰が動いているか把握できるため、見守りが容易となった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

特にない

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 株式会社かみのくら  
施設名 グループホーム彩り「ぎふ」  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	CAREaiライトシリーズ 超音波センサーライト
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 3 月 18 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

立ち上がりの不安定な方や歩行具が必要だが使用認識が曖昧な方に使用している。  
立ち上がり不安定な方にはベッドの足元に設置、足が降りた頃に訪室する事ができ立ち上がりの支援に入っている。  
歩行具が必要で使用認識が曖昧な方には、居室内の入口付近に設置、歩行具を使用しているか確認し使用していなければ支援に入る。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

職員は、必要な方の選択、設置場所、緊急時の対応時に使用するなどご利用者様、職員の負担軽減を目標にして活用している。  
居室で過ごす方への過剰な見守りが減り、職員の負担、ご利用者様の不快感が減っていると感じる。  
夜勤帯の休憩は定着している。

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

ペンダントが小さく携帯するのに良い。介助中も邪魔にならない大きさである。  
職員は立ち上がりや歩行が不安定な方への訪室が必要時のみになり何度も訪室しなくても良い。夜間の休憩もとれている。  
ご利用者様は不要な訪室がなく、安心して過ごして頂けている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

センサー:コードレスなので設置場所の選択肢が多い。結構大きく目につくのでご利用者が角度や位置を変えてしまことがある。センサーの感知がよく、布団やカーテンが動いただけでも反応する。  
送信機:電源が必要で家具の配置を変えたり、電源タップの準備が必要となる。  
受信機:ペンダント1つで複数人の送信相手が手元でわかる。手元で分かるので夜間は大きなセンサー音は必要なく静かで良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 飛騨古川  
施設名 さくらの郷あさぎり  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	キング通信工業(株)	シルエット見守りセンサ WOS-114N
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 10 月 29 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・認知症の症状のある利用者のうち、立位不安定で動きが多く、転倒・転落リスクの高い方の居室で終日使用。夜間帯はタブレット等で確認を行っている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
・人手不足は改善されていないものの、機器を導入したことで夜間を中心として介護職員の負担は減っており、就労環境を整えることの一助となっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
・導入前は常時職員の見守りが必要であったが、機器を導入したことにより他の業務中も利用者の状態を確認することができるようになった為、以前より落ち着いて業務に向き合えるようになった。  
・都度モニタを確認し、利用者が落ち着かれない時等を選んで訪室することで、介護の負担が軽減できている。動きが頻回のときは、訪室回数を増やすことで、利用者の転倒などの事故を防げている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
・タブレット(モニタ)で確認する際、画面が一つしか見れないため、一度に複数の画面で確認することができるとうい。  
・常時使用しているため、タブレット等のバッテリーの消費が激しく、バッテリーの劣化が早い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人社団 友愛会  
施設名 山県グリーンポート  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	エスパシアシリーズ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
20 台	令和 3 年 12 月 17 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

車いすを避けて歩いたり、危険認識が乏しく転倒のリスクがある利用者(Aさん)に使用中。夜間、寝入るまで頻回にセンサーコールありスタッフが対応できるため、転倒事故には至らず過ごせている。就寝後はセンサーの作動なく寝ている日もあれば、寝付けず何度もセンサーが感知し対応する日もある。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
・介護ロボットを導入し3年、効率化したことでできたすきま時間で「見守り」以外の業務に人員を手厚く配置できるような取り組みをしてきた。  
・ロボットを活用することで、頻回の見守り、巡回が軽減でき、入所される利用者の状態変化(ターミナルの利用者の増加・既存の利用者の重度化)にも対応、ケアの時間を充実させることができた。利用者の安全確保に繋げることができている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
・センサーを設置することで、職員の心理的な負担の軽減につながっている。  
・検知したい動作を選択して設定できるため、利用者のリスクレベルに応じた設定をすることができる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
体重移動が少しづつであると、センサーが体重の移動を感知できず、落ちかけている状態で発見、または転落してしまう事案があった。起き上がりの1秒から3秒はあまり違いがないので、ほかの設定が出来るとよい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 特別養護老人ホームまほろば  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 3 年 12 月 23 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・認知症の方の夜間の様子や転倒・転落のヒヤリハットが多い方などへ使用し、スマートフォンやパソコンで確認できることにより未然に防ぐことができる。又、転倒事故があった場合でも録画を確認することで原因を探り早目に対応することができる。  
・状態悪化の方の呼吸数や心拍数が確認でき状態変化にいち早く察知することができ対応することができる。  
・夜間眠りスキャンEYEを使用することで居室での過ごし方が確認でき訪室回数の軽減にもつながっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用できないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 特別養護老人ホームまほろば  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 3 年 10 月 13 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

自動除圧で体位交換の時間を減らすことができている。又、褥瘡ができた方に使用することで治癒が早く、ベット上で過ごされている方にも褥瘡予防にもつながっていると感じる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

介護職員の見守り支援業務の負担軽減効果  
体位交換による入居者、職員双方への身体的負担の軽減  
入所者の安全面に配慮でき、リスク軽減ができた

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

必要な方には、2時間ごとに訪室し、体位交換を行うため、1日に12回訪室しているが、アミアによる自動除圧を行うことで、体位交換のための訪室回数はゼロになり、職員の身体的、精神的負担が軽減された。  
入居者にとっても、身体に触れられることで起こされる問題がなく、夜間も安眠できている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

マット使用時のクッションの必要性や使用方法がまだ分からない

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 特別養護老人ホームまほろば  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド	センサー付低床3モーターベッド
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 11 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・認知症の方の居室で使用、夜間帯に起きてこられることあるので、起き上がり動作中で声掛けができた

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・夜間何度も起きてこられる方で、起き上がりでセンサーが知らせてくれるので、トイレ誘導など声掛けができた。  
・移乗時介助が必要で転倒リスクが高い方だが、ベッドからの起き上がりでキャッチすることができ転倒の予防ができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

起き上がりにてセンサーがなるため、早めに居室へ行き、声をかけて安全な介助ができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ベッドに体位交換の機能があるが、褥瘡マットを敷いた場合に双方の利点を活かす使用方法がないか、メーカーに聞きたい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホーム桜坂  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 3 年 12 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

眠りスキャンの設置は本人への負担がなく、またパソコンやスマートフォンで簡単に確認ができる。認知症状がある方の居室での行動、夜間の状態などを把握することができる。夜間不眠状態であれば、日中の行動を見直すことができる。体調不良を訴えられない人や病状の面から、何かと把握しづらい心拍数、呼吸数などは設定範囲を超えた場合の警告音などが出ることで、現状を医師へ伝えたり、ご家族様へ受診の勧めをすることができる。居室での転倒転落や落ち着かない人の場合、眠りスキャンEYEを使用し、眠りの状態、EYEの録画を見て、転倒の原因を探るなど、記録をたどり、眠っているかどうかや転倒の原因などが根拠を持って改善につながる。また、ご家族様への説明も紙ベースで伝えることで、日々の状態を伝えることができる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 小規模多機能型居宅介護事業所桜坂  
施設の種別 小規模多機能型居宅介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 3 年 12 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

初めての泊り利用時に、睡眠の状態がどうだったのか、心配されるご家族様へ眠りの状況を印刷をかけて、書面で状態をお伝えすることができる。夜間、覚醒した時や動いた時にお知らせ音があれば、すぐにかかけつけ、現状を把握することができる。EYEを使用し、居室での動きを確認している。訪室すると驚かせたりするため、画面で確認している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用できないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホームIB  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 EYEカメラのみ1台	令和 3 年 12 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

理解力や判断力が低下している認知症症状を有し、①転倒や転落事故防が起るリスクのある方②不眠や、夜間体動が多い方③看取り期或いは体調の不安定な方を対象者として眠りスキャンを使用した。対象者毎に、ベッド上での「覚醒」ベッドからの「起き上がり」体調悪化及び看取り期の状態変化の兆候である「心拍異常」「呼吸異常」等見守り方法を設定した。また、対象者の中で、動きをキャッチしたい方については、眠りスキャンEYEを使用し、情報をパソコンやスマートフォンで確認を行った。睡眠状態の把握、転倒転落の予防、異常の早期発見を目的に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高年齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 グループホームIB  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 3 年 12 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

理解力や判断力が低下している認知症症状を有し、①転倒や転落事故防が起るリスクのある方②不眠や、夜間体動が多い方③看取り期或いは体調の不安定な方を対象者として眠りスキャンを使用した。対象者毎に、ベッド上での「覚醒」ベッドからの「起き上がり」体調悪化及び看取り期の状態変化の兆候である「心拍異常」「呼吸異常」等見守り方法を設定した。また、対象者の中で、動きをキャッチしたい方については、眠りスキャンEYEを使用し、情報をパソコンやスマートフォンで確認を行った。睡眠状態の把握、転倒転落の予防、異常の早期発見を目的に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知があった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

巡回の時間をデータ化することで情報収集のしやすさや伝達のしやすさ、また生活リズムやトイレ誘導することでパット内排尿や放尿などを防ぐことができた。眠りスキャンEYEの画像を見れば、巡視しなくても、眠りの状態が把握でき、音で起こしてしまうこともないため、自室での行動把握、密室での事故防止に役立っていると考ええる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 小規模多機能型居宅介護事業所IB  
施設の種別 小規模多機能型居宅介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 3 年 12 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

理解力や判断力が低下している認知症症状を有し、①転倒や転落事故防が起こるリスクのある方②不眠や、夜間体動が多い方③体調の不安定な方を対象者として眠りスキャンを使用した。対象者毎に、ベッド上での「覚醒」ベッドからの「起き上がり」体調悪化の状態変化の兆候である「心拍異常」「呼吸異常」等見守り方法を設定した。また、対象者の中で、動きをキャッチしたい方については、眠りスキャンEYEを使用し、情報をパソコンやスマートフォンで確認を行った。睡眠状態の把握、転倒転落の予防、異常の早期発見を目的に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

巡回の時間をデータ化することで情報収集のしやすさや伝達のしやすさ、また生活リズムやトイレ誘導することでパット内排尿や放尿などを防ぐことができた。眠りスキャンEYEの画像を見れば、巡視しなくても、眠りの状態が把握でき、音で起こしてしまうこともないため、自室での行動把握、密室での事故防止に役立っていると考ええる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高年齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 株式会社キャリアオン  
施設名 デイサービスキャリアオン  
施設の種別 地域密着型通所介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオンルバー	ベッドサイドセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 3 年 11 月 18 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
前回と同様にフロアから死角となる静養室のベッドにセンサーを設置しており、離床時にはフロアの受信機が反応するためフロア職員が静養室へと向かうことで転倒、転落のリスクが軽減されている。介護ロボットの具体的な利用状況としては、以前よりも自立度の高い利用者が増加したことにより、週1~3回程度の頻度でセンサーが活用できており、使用頻度は減少している。しかし、鳴動した際には職員が静養室に向かうことができている。転倒リスクについては職員が静養室に向かうことで減少に繋がっていると考える。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
1つ目の目標である「転倒、転落リスクの高い利用者に対する見守り業務の改善により職員の精神的負担が軽減する」については、センサーが鳴ったら向かうことを継続して行っていたため、約8割は達成できたと考える。  
2つ目の目標である「見守り人員の削減によりその他業務の効率化が図れ、残業等による職員への負担が減少する」については、残業時間の増加はなく継続できているため、約7割は達成できていると考える。  
3つ目の目標である「業務の効率化が図れることで計画の作成や検討などの時間が確保でき、利用者に対して質の高いサービスが提供できる」については、以前よりも利用者数が増加したことで1人あたりの個別機能訓練の時間は短縮したが、サービス内容を見直す時間を作ることで質の向上を図っており、約7割は達成できていると考える。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
介護ロボットを導入したことで利用者の転倒・転落リスクは低減することができていると考える。また、離れている静養室の見守り人員を削減できていることや、それにより他の業務に時間を使うことができ残業することもないため、職員の負担軽減ができていると考える。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
不都合な点等について前回と変化はなく、寝返りなどでセンサーに触れることでアラームが鳴ってしまう点や、センサーマットの上に座っているとアラームが鳴りっぱなしになるためアラーム側の電源を切って対応しているが、電源を切ったままで点け忘れることがあるため注意が必要な点である。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人白川町社会福祉協議会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 3 年 10 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・臥床時
- ・転倒リスクの高い方の起き上がりのタイミングで通知を作動できるようにしている。
- ・睡眠状態を確認し、その人に合わせながら離床やトイレ誘導を行っている。
- ・夜間の睡眠状態を確認して、午前中に休憩時間や日中の活動を提供している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・眠りSCANのセンサー音があることで、早く対応することができ、深夜帯は特に安心して行なうことができた。
- ・よく眠っている方は、日中でもそのまま休んでいただいたり、起きている方は離床し活動したりと、眠りSCANでの様子も含め、対応することができた。
- ・モニターを見て、覚醒状態を確認し、早めの対応をすることができた。(トイレ誘導のタイミングなどを知ることができた)

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・離床センサーやフットセンサーより先に眠りSCANが作動するため、すぐに対応できる。ユニットをまたいで対応でも、迅速に対応できる。事故防止につながった。
- ・画面を見るだけで、しっかり眠れているのかが分かるので、眠れていない方に対して、日中休んでいただく等の対応を行うことができた。
- ・夜間の眠りの様子を知ることができた。(日中眠気の強い方など)
- ・覚醒状態や体動を知ることができた。
- ・アラームを活用することで、早めの対応ができ、事故防止につながったので良かった。
- ・センサーを使用している方で動きの早い方は、起き上がり通知が作動することで、一足先に様子を伺うことができる。細かな体動や寝返りも分かるため、危機感を持って他のケアに当たることができる。
- ・日中眠りが強い方の夜間の眠りの深さを知ることで、日中の過ごし方を工夫できる方もいる。
- ・眠気の強い時の排泄介助に抵抗のある方など、眠りの浅いタイミングで排泄介助に入ること、抵抗が少なく感じることもあった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。
- ・体動がなく覚醒されていても、『睡眠』になっていることがある。
- ・眠りの具合が、実施の利用者の様子とモニター表示が異なっていることがある。
- ・他施設で、有効的な活用方法をしているところがあるのなら知りたい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人社団浩養会  
施設名 介護老人保健施設メモリアル光陽  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド	離床センサー付低床3モーターベッド FBD-N936P2/SU/M2
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 3 年 11 月 19 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・認知症のご利用者が療養室で臥床中、センサーがベッドに内蔵されているので、モニターを通じてベッド上の状態を把握でき、ナースコールと連動しているため、適切なタイミングで訪室し、排泄ケア(トイレ誘導)や声掛けができた。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

転倒・転落リスクのあるご利用者が多く、入所定員100名に対し、常時見守りが必要なご利用者が9名以上入所しているため、夜間の見守りの負担が大きく、精神的・肉体的負担の軽減が必要であった。  
パソコンモニターでベッド上の状態が監視できるため、訪室の回数が減少し、職員の負担が30%程度軽減できた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・ご利用者のベッド上の状態をパソコンモニターで監視できることで、職員の訪室・排泄ケアが効率化され、職員の負担が軽減できている。  
・転倒リスクの高いご利用者に使用し、ベッドからの起き上がりにいち早く駆けつけることができ、安全に移乗できる機会が増えた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

・センサーをセット後ベッドから離床し、ベッドへ戻った時にリセットしないと対応できない。  
・Wi-Fiをセットすることが大変。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人みどりの里  
施設名 特別養護老人ホームハーモニー  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 11 月 4 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

新規入所等があった場合や、夜間の徘徊が多いと見込まれる利用者に対してそれぞれ数か月間使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

看取り中の心拍数、呼吸等を計測でき利用者の詳細な情報を対面することなくリアルタイムで把握することが出来るようになった。これにより利用者の急な状態の変化への対応が可能となり、また看取り中の利用者 と接する職員の過剰なストレスの軽減になった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

職員が決まった時間に休憩を取得することができるようになった。  
特にケアが必要な利用者についても、他の利用者並みの巡回回数で対応することが可能となった。  
居室訪問時間の短縮につながった。  
利用者の行動パターンを把握することで、ケアの質の向上が図られた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

通信機器の誤作動が稀にある。  
24時間連続で使用しないとデータが正しく収集されない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人みどりの里  
施設名 短期入所生活介護ハーモニー  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 11 月 4 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

新規入所等があった場合や、夜間の徘徊が多いと見込まれる利用者に対してそれぞれ数か月間使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

看取り中の心拍数、呼吸等を計測でき利用者の詳細な情報を対面することなくリアルタイムで把握することが出来るようになった。これにより利用者の急な状態の変化への対応が可能となり、また看取り中の利用者と接する職員の過剰なストレスの軽減になった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

職員が決まった時間に休憩を取得することができるようになった。  
特にケアが必要な利用者についても、他の利用者並みの巡回回数で対応することが可能となった。  
居室訪問時間の短縮につながった。  
利用者の行動パターンを把握することで、ケアの質の向上が図られた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

通信機器の誤作動が稀にある。  
24時間連続で使用しないとデータが正しく収集されない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人みどりの里  
施設名 デイサービスセンターハーモニー  
施設の種別 地域密着型通所介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 11 月 4 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

入浴後に睡眠をとる利用者や特に見守りが必要な利用者に対してそれぞれ数か月間使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

静養(睡眠)中の心拍数、呼吸数等を計測でき利用者の詳細な情報を対面することなくリアルタイムで把握する事が出来る様になった。これにより利用者の急な状態の変化への対応が可能となり職員の負担軽減になった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・職員が決まった時間に休憩を取得する事が出来る様になった。
- ・静養中の利用者の状態把握が他の利用者と接しながら把握が出来る様になった。
- ・利用者の行動パターンを把握する事でケアの質の向上が図られた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

通信機器の誤作動が稀にある。  
24時間連続で使用しないとデータが正しく収集されない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 特別養護老人ホーム光の園  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド株式会社	センサー付低床3モーターベッドと見守りケアシステムM2
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
20 台	令和 4 年 2 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・転倒や転落のリスクが考えられるご利用者様に使用した。
- ・突発的行動がみられるご利用者様に使用した。
- ・ベッド上で体動が多くみられるご利用者様に使用した。
- ・移乗時にアザに繋がるご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・ベッド上でのご利用者様の状態が把握できることにより、離床動作時に早期対応ができるようになった。
- ・ご利用者様の動きに合わせてセンサーの感度設定ができるので、ベッド上での行動をある程度自由に行っていただけようになった。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 特別養護老人ホーム光の園  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 1 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 特別養護老人ホーム光の園  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 1 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

**【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】**  
※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・ベッド上での体動が多くみられるご利用者様や、自力で寝返りができないご利用者様に使用した。  
・皮膚が弱く、褥瘡ができる可能性の高いご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

**【目標の達成状況】**  
※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。  
・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。  
・センサーの設定が細かくできるので、ご利用者様に合った見守りが行えた。  
・体位交換を併せて行うことで、褥瘡の発生を抑える、または褥瘡の悪化を防ぐことができた。

**【介護ロボットの導入効果】**  
※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。  
・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。  
・空気の循環機能があるので、ご利用者様は快適に休んでいただくことができた。

## 4 その他

**【介護ロボットの不都合な点等】**  
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
・コンパクトに折りたためないため、保管場所のスペースが必要となった。  
・配線を収納するマット横のファスナーが、噛んでしまうことがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 特別養護老人ホーム光の園  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 1 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 特別養護老人ホーム光の園  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 1 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・ベッド上での体動が多くみられるご利用者様や、自力で寝返りができないご利用者様に使用した。
- ・皮膚が弱く、褥瘡ができる可能性の高いご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・センサーの設定が細かくできるので、ご利用者様に合った見守りが行えた。
- ・体位交換を併せて行うことで、褥瘡の発生を抑える、または褥瘡の悪化を防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・空気の循環機能があるので、ご利用者様は快適に休んでいただくことができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- ・コンパクトに折りたためないため、保管場所のスペースが必要となった。
- ・配線を収納するマット横のファスナーが、噛んでしまうことがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 地域密着型介護老人福祉施設シルバータウン岩井  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 1 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもってもらえるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 地域密着型介護老人福祉施設シルバータウン岩井  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 1 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・ベッド上での体動が多くみられるご利用者様や、自力で寝返りができないご利用者様に使用した。
- ・皮膚が弱く、褥瘡ができる可能性の高いご利用者様に使用した。
- ・看取りのご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・センサーの設定が細かくできるので、ご利用者様に合った見守りが行えた。
- ・体位交換を併せて行うことで、褥瘡の発生を抑える、または褥瘡の悪化を防ぐことができた。
- ・看取りのご利用者様に対し、体位交換や保湿等と併せてケアを行うことで、皮膚トラブルなくお過ごしいただけた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・空気の循環機能があるので、ご利用者様は快適に休んでいただくことができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- ・コンパクトに折りたためないため、保管場所のスペースが必要となった。
- ・配線を収納するマット横のファスナーが、噛んでしまうことがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 ショートステイシルバータウン岩井  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 1 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 介護老人福祉施設アルトシュタットとみか  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオンルバー	バイオネクスト
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 4 年 1 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- 下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- 認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- 夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- 新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- 転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- 職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ベッドからの起き上がりにより転倒リスクが高いご利用者様に対し、人感センサーが作動したことで転倒防止に繋がった。
- ご利用者様の細かな行動を把握することができ、24時間シートに活用できた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- 職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 本体を設置する際にベッド柵やマットレスと重なり、電源等の作動確認がしづらい。
- 本体をマットレスの下に敷いており、ギャッジアップの角度によっては破損するとのメーカー情報があり、ギャッジの角度を上げた時は不便に感じた。
- ナースコールと連動のため、ナースコールとセンサー反応時の音が同じであるので、違う音の設定ができると良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 介護老人福祉施設ゴールドヴィレッジほらど  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオンルバー	バイオネクスト
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 4 年 1 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- 下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- 認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- 夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- 新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- 転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- 職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ベッドからの起き上がりにより転倒リスクが高いご利用者様に対し、人感センサーが作動したことで転倒防止に繋がった。
- ご利用者様の細かな行動を把握することができ、24時間シートに活用できた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- 職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 本体を設置する際にベッド柵やマットレスと重なり、電源等の作動確認がしづらい。
- 本体をマットレスの下に敷いており、ギャッジアップの角度によっては破損するとのメーカー情報があり、ギャッジの角度を上げた時は不便に感じた。
- ナースコールと連動のため、ナースコールとセンサー反応時の音が同じであるので、違う音の設定ができると良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 ショートステイやまがた  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 1 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 グループホームオレンジヒルズやまがた  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオンルバー	バイオネクスト
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 1 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・ベッドからの起き上がりにより転倒リスクが高いご利用者様に対し、人感センサーが作動したことで転倒防止に繋がった。
- ・ご利用者様の細かな行動を把握することができ、24時間シートに活用できた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- ・本体を設置する際にベッド柵やマットレスと重なり、電源等の作動確認がしづらい。
- ・本体をマットレスの下に敷いており、ギャッジアップの角度によっては破損するとのメーカー情報があり、ギャッジの角度を上げた時は不便に感じた。
- ・ナースコールと連動のため、ナースコールとセンサー反応時の音が同じであるので、違う音の設定ができると良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 介護老人福祉施設オレンジヒルズやまがた  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 1 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 介護老人福祉施設オレンジヒルズやまがた  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオンルバー	バイオネクスト
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 4 年 1 月 14 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- 下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- 認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- 夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- 新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- 転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- 職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ベッドからの起き上がりにより転倒リスクが高いご利用者様に対し、人感センサーが作動したことで転倒防止に繋がった。
- ご利用者様の細かな行動を把握することができ、24時間シートに活用できた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- 職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 本体を設置する際にベッド柵やマットレスと重なり、電源等の作動確認がしづらい。
- 本体をマットレスの下に敷いており、ギャッジアップの角度によっては破損するとのメーカー情報があり、ギャッジの角度を上げた時は不便に感じた。
- ナースコールと連動のため、ナースコールとセンサー反応時の音が同じであるので、違う音の設定ができると良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 介護老人福祉施設オレンジヒルズやまがた  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 1 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・ベッド上での体動が多くみられるご利用者様や、自力で寝返りができないご利用者様に使用した。
- ・皮膚が弱く、褥瘡ができる可能性の高いご利用者様に使用した。
- ・看取りのご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・センサーの設定が細かくできるので、ご利用者様に合った見守りが行えた。
- ・体位交換を併せて行うことで、褥瘡の発生を抑える、または褥瘡の悪化を防ぐことができた。
- ・看取りのご利用者様に対し、体位交換や保湿等と併せてケアを行うことで、皮膚トラブルなくお過ごしいただけた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・空気の循環機能があるので、ご利用者様は快適に休んでいただくことができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- ・コンパクトに折りたためないため、保管場所のスペースが必要となった。
- ・配線を収納するマット横のファスナーが、噛んでしまうことがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 千寿会  
施設名 さてらいと日吉デイサービス  
施設の種別 地域密着型通所介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社テクノスジャパン	家族コール3A・メロディチャイムHK-3A
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 3 年 11 月 22 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

昼食後、休憩のためベット臥床にてセンサーON。1時間程度でセンサー反応。靴を履こうとしており、そのままトイレ誘導。職員配置が少ない時間帯に玄関にセット。帰宅願望が強い利用者が出て行こうとする時に早期に発見することができ、敷地外に出ていくことを未然に防ぐことができている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

ナースコール機器がないため、単独でセンサーが反応する機器はありがたい。導入前は、ベット休憩時に何回も確認したりしていたが、導入により確認作業が少なくなり負担軽減になっている。導入後、ベットでの転倒事故はなし、また、敷地外に出ていくことも防止できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

どのくらい時間短縮になっているかは不明だが、ベット休憩時の確認作業が減少したため、レク等の準備が効率的に集中的に行えるようになったり、他の事に時間を有効に使えるようになった。また、見回り回数が減ったため、音や気配が少なくなり、「よく休めるようになった」と利用者にも好評。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

個々に電源が必要なため、同時に利用する場合は、コンセントの場所確認や延長コードが必要。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 さくら福祉会  
施設名 チェリーヴィラ広見苑  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 3 年 10 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・ADLの著しい低下によって自己にて寝返り動作が困難な方に対して使用し、安楽な体位の確保及び褥瘡発生予防、発症後の早期回復を図ることができている。対象の方には毎日使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・エアマットの自動除圧機能により、利用者の安心安楽な体位の維持はもとより、定時の体位交換回数を減らすことができた。職員の介護負担軽減及び夜間帯における入居者の睡眠の質向上に繋がっている。
- ・導入して以降、褥瘡発生者の早期回復や再発予防を図ることができ、褥瘡の発生件数は3割程度減少傾向が見られた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・自動除圧機能により、体位交換支援にかかっていた時間を他の支援に充てることができるようになった。
- ・自己での寝返りが難しい利用者に対して見守り機能は必須ではなかったが、自動除圧により褥瘡の発生が予防できることでケアの質向上につながっている。
- ・夜間帯の訪室回数を減らすことができ、利用者も職員も負担軽減できている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

- ・見守りが必要な方は動けるので自動除圧は使用しないし、自動除圧が必要な方は見守り機能が不要なことが多いため、用途が真逆で混乱することがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 桜友会  
施設名 ほほえみ福寿の家  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ノーリツプレジジョン株式会社	Neos+Care
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
12 台	令和 4 年 3 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

ベッドサイドでの転倒事故を未然に防ぐことができた。発生してしまった事故についての根拠ある計画の立案や原因分析の時間削減ができた。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

センサー通知時、他の業務を行いながら通信端末を確認する事で、行っている業務の手を止める場面が減少。訪室して確認する工程減少。発生してしまった事故の改善計画の立案時間や原因分析の時間削減に効果があり目標は達成された。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

転倒リスクのある利用者への見守り時間減少による職員の負担軽減はもちろんのこと、新規利用者の居室内動作のアセスメントにも使用。センサー反応時の動画保存機能により職員で後から見ることができ、危険リスクの有無、Neos+Careの継続設置の必要性等の話し合いの材料として仕様することができ、双方の有益な環境づくりの効果があった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

機器のセッティングがやや困難なため、専任職員が必要。シーツ交換やベッドを動かすほどの清掃が入った時にセンサーのチェックが必要な事。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人 香徳会  
施設名 太陽苑  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ホトロン	ウーゴ君
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 3 年 12 月 29 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

常時8台+既存のセンサーマット4台が常時稼働している状況である。  
使用場面としては①転倒リスクが高い②NSコールが認知症等により使用できない③在宅復帰に向けて自立を目指す方の所在確認 に使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

【導入時の目標】転倒・転落リスクのある利用者が非常に多く、入所定員50名に対し、常時、見守りが必要な利用者が常に入所している。特に夜間の見守りは、介護士の負担が大きくなっている状況がある。早期に気づくことで事故を減らし、介護スタッフの精神的・身体的負担の軽減が必要である。

- ・夜間の頻回なラウンドが減り、必要なラウンド回数で対応できている。
- ・転倒件数に関しては大幅な軽減はないが、受診や処置を伴う転倒は軽減している。
- ・転倒による骨折事例はない。 達成度80%

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・ご本人の行動制限が緩和され、精神的な負担は軽減しており、自由に居室で過ごすことができている。
- ・転倒による受診や処置の時間の減少により、利用者・職員の負担軽減となっている。
- ・自立に向けてや在宅復帰に向けた訓練の進行に伴い、転倒リスクも上がるが見守り機器の活用で訓練への意向が容易になっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

機械の操作が簡単であり使用には便利であるが、利用者の中にはご自身でスイッチをOFFにされる場合がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人墨友会  
施設名 特別養護老人ホームサンヴェール大垣  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド	見守りケアシステム
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 3 年 12 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
ナースコールを押せずに起き上がられ、転倒リスクがある方に「起き上がり」「動き出し」で日中夜間とも個々の状態に合わせて使用している。動きの速い方は、鳴った時には間に合わない場合があるため、早めに対応できるようにセンサーが鳴るタイミングを早めに行っている。状態変化と共に、起き上がり動作でふらつきや転倒リスクが見られ始めたタイミングで、早急に対応が出来る。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
①利用者様の離床や起き上がりの動きに早期に気づき対応できることにより、転倒・転落事故の減少につながっている。  
②利用者様の動きを知ることが、睡眠リズムの把握につながっている。睡眠リズムに合わせた排泄支援や、起床介助を行っている。  
③夜間、見守りの為の追加巡視を減らすことができ、介護職員の負担軽減になっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
導入前は転倒リスクのある方に対して、通るたび・30分おき等訪室や巡視を行っていたが、導入後は巡視回数も減り、介護負担軽減と、ご利用者様にとっても何度もお部屋に伺うことがなくなり、安眠やプライバシー保護、落ち着いた生活ができています。ご利用者様もセンサーがある事で嫌がられたりすることもなく、トイレ行きたい時にセンサーが鳴って伺えるため、「いつも来てくれる」と笑顔で言われる方もみえる。新規入所がある場合は、まだアセスメントの把握が浅い期間に導入出来る事で、安全な状態で、経過観察・利用者様の状態や行動の把握が出来て事故も防ぐ事も出来、ご本人様やご家族様も、慣れない期間を安心して生活して頂ける。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
センサーの感度が良いため、少しの動きでもセンサーが反応してしまうことがある。モニターに人のマークがなかったり、急に反応がなかったりする事がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 墨友会  
施設名 サンヴェール花水木  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド	見守りケアシステム
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
6 台	令和 3 年 12 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

生活リズムが整っておらず、行動の不安定な利用者が定期的にご利用されているため、センサーベッドを常に使用している。定期利用の利用者で、転倒リスクが高い人や、初めての利用者で、一日の生活リズムを確認するためなどに使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

人員の少ない夜間など、センサーベッドを使用することにより、1ユニットの利用者をまんべんなく見守りに対応ができるようになった。転倒リスクが高く、頻回に巡視が必要だった利用者にはセンサーベッドを使用することにより未然に事故を防ぐことにもつながっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

巡視回数の減少により、介護職員の介護負担の軽減につながった。センサーベッドの導入により、利用者の動きに早めに気づくことができ、精神的負担の軽減にもつながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

センサー感度の調節ができると良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートシティ中濃の杜  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	aams
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 3 年 11 月 22 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

ADL・体力的にもレベル低下がみられる入居者の方に夜間時や人手が少ない時に使用中。浮腫がひどく急変リスクのある方の夜間はアイパットにて心拍や呼吸数を確認する事で職員の精神的不安を解消できている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・夜間帯の安否確認や排泄支援時に入居者の方のねむりを妨げることが少なくなり、30分に1回の巡視が生体反応確認と巡視とで入居者・職員双方ともに負担の軽減が来ている。

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・ADL低下の方も多いが、、心拍、呼吸がわかる事で職員の不安解消にはなっている。  
・記録がデータで残ることにより記録する必要性がある方には紙ベースに印刷し睡眠時間を把握できカンファにも活用できた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・WiFiの加減で反応が(画像が)停止することがあった。  
心拍数が低すぎて心配になることがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートシティ中濃の杜  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)モルテン	AMELIA(アメリア)
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 3 年 11 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・レベル低下の方や自己にて寝返りが出来ない方に使用。褥瘡が臀部や踵に出来てくると、早いうちにアメリアを使用しています。アメリアを使用する事で褥瘡の完治も早く、入居者様も職員も処置等に係る時間も軽減されている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・入居者様の体位交換や耐圧分散が定期的に行なわれることによって、声をあげていた入居者様も、声出しをする回数が少し減ったように思える。  
・見守り機能がありコールで知らせてくれるので、職員が他の業務中でも、すぐに駆け付ける事が出来、転倒事故が少なくなった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・入居者様の体位交換や耐圧分散が自動に行なわれることによって、2時間おきの体位交換の時間が無くなり、他の入居者様の支援に入ることが出来ている。また睡眠を妨げる事もなくなり入居者様、職員のストレス軽減が出来ている。また、褥瘡が出来てしまった方の完治が早い。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・体重が軽い入居者様には、センサーが作動しない事があった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートタウン平成の杜  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社エヌジェイアイ	安心ひつじα
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 4 年 3 月 7 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
高齢の入居者や、体調不良で急変リスクの高い入居者に使用している。  
臥床時は常に心拍数、呼吸数をモニターしており、閾値を超えた状態が継続した際にアラートにて知らせてくれるため、状態変化への早期対応ができる。  
宅直の看護師へ状態を連絡する際にも、数値をすぐに確認でき情報共有に活用できている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
毎年台数を増加しており、現在は入居者の約半数が使用している。  
安否確認のための巡視回数の減少と、急変リスクの高い入居者を見守る際の精神的な負担の軽減が行えている。  
全床に導入することで、目視での巡視回数の大幅な減少や、ターミナルケアへの活用が見込めるが、現状の安心ひつじαの活用における達成度は50%程度である。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
急変リスクの高い方などは30分に1回などの巡視を行っていたが、安心ひつじαにてモニタリングを行うことで、目視での巡視回数を減らし職員の負担軽減になった。  
急変に対して、いつ起きるか分からないという精神的な負担をセンサーにて常にモニターすることで、早期対応することが可能となり安心して夜勤業務を行えている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
導入当初と比較し、ソフトウェアの改善がなされ、当時不都合に感じていた部分の多くは改善された。  
入居者をグループ分けすることができるが、グループ分けをしても他グループのアラートも検知してしまうため、受け持ちの入居者の異常なのかどうかを確認する必要があり、負担となっている。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 社会福祉法人 大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートタウン平成の杜  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	テルサコール
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 3 年 11 月 9 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
転倒リスクが高い方のマットレスとして使用している。ナースコールを使用していただけなかったり、従来の床センサーなどは気になって触ってしまうような入居者を対象として事故防止に活用できている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
入居者の状態にあったセンサーを使用することで、適切な事故防止に努めている。使用するセンサーの種類は事故防止検討委員会などで検討を行い、介護ロボットが必要な入居者を選定している。  
従来の床センサーやサイドセンサーと異なり、マットレスと一体になっているため、破損リスクも低く継続して活用することができている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
転倒や転落を未然に防ぐことができおり、事故発生による対応や報告書の作成、事故検証や対策の検討に関わる会議や話し合いの減少による負担軽減が図れている。  
従来のセンサーと比較し、シーツ交換時のズレや、破損リスクも大幅に少なくなっており業務効率も改善された。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
ベッドの両サイドにセンサーが配置されているため転落の危険性のない壁側への寝返りなどでも発報することがあり、その際の対応が必要となる。左右のセンサーを任意でオンオフできる設定があると良い。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人 馨仁会  
施設名 藤掛病院介護医療院  
施設の種別 介護医療院

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ケアコム / NEC	離床センサー 5台 / 高速アクセスルーター 1台
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
6 台	令和 3 年 11 月 9 日 4 3 25	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

認知症の方、不穏な方、転倒リスクが高い方の居室で使用し、職員が少ない時間帯でも事前に入所者の動きに気付く事ができ、声掛けをする事で転倒による骨折事故を起こすことなく介護ができた。

通信環境整備(離床センサーを含め既存の監視機器を活用する環境/高速アクセスルーター)と離床センサー等の活用により、入所者の動きや健康状態の把握が可能となった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

介護ロボット導入により、介護に携わる人にとって働きやすい職場環境の構築の目的は達成できたと考えます。離床センサーの導入は、徘徊や転倒リスクの高い入所者に使用する事で、夜間等の限られたスタッフ数での勤務時間中에서도見守りや巡回回数を増やすことなく安全な介護の提供が出来た。その結果、職員の身体的・精神的負担の大幅な軽減となり、気持ちの余裕が入所者へのサービスの質の向上に繋がった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

転倒転落に関するヒヤリハット件数ですが、介護ロボットの導入前(R3年)は46.1%(26件中12件)を占めていましたが、導入後(R5年)は34.7%(23件中8件)に減少しました。離床センサーにより、転倒リスクの軽減に繋がった。

またセンサーが設置してある事により職員が勤務交替をしても、入所者のリスク(徘徊・転倒等)がすぐに分かり、リスクに合わせたラウンドやケアが行えたと考えます。

リスク軽減により、職員の身体的・精神的負担が緩和され、自然と入所者に関わる時間も増え、双方の満足度は高まった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

離床センサーについては、特に問題なく使用できている。ただ、センサーの台数に限りがあり、日々変化する入所者の状況に対応するには数が不足し、必要な時に使用できない事もあった。通信環境整備に関しては、機器に不慣れな職員は対応が困難であり、また慣れた職員でも通信障害等の問題発生時は対応に苦慮した。

今後も職場環境改善(負担軽減、サービスの質の向上)の為に、介護ロボット導入の支援をお願い致します。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人 悠信会  
施設名 介護老人保健施設 ラポール  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	テクノスジャパン	コールマットコードレス
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 3 年 11 月 2 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
使用した利用者様の状態:認知症を呈しており、歩行は見守りを必要とする方。※転倒のリスクが高い為。  
常に1人で歩くことは転倒するリスクがあることから、ベッドから離床され、歩行する時には職員に声をかけるか、ナースコールを押すように伝えているが、認知症により難しい。気が付くと1人で歩いており、ふらつきもみられる。その為、この利用者様に対して、このコールマットを使用した。日中は主に食堂にいるが、朝や夜は居室におり、見守ることができない時間帯に使用。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
①利用者様が転倒するリスクの軽減。  
利用者様が歩かれる直前に、職員がセンサーの音に気づき、利用者様の元に駆けつけ、介助に入ることができる。  
②職員の精神的負担の軽減。  
職員が気が付かないうちに1人で歩かれて、転ばれるかもしれないという不安な気持ちが軽減する。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
転倒のリスクがあり(1人で勝手に歩かれる)、常に見守りが必要であった利用者様に対して、このマットを使用したことで、常時の見守りが必要なくなった。その為、他の介護業務の時間に充てることができた。  
介護職員の一部の業務時間の短縮と精神的負担の軽減により、仕事に対してのゆとりもでき、笑顔も増えた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
機能及び使い勝手に問題無し。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 (福)豊寿会  
施設名 サンライフ彦坂  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	竹中エンジニアリング(株)	徘徊お知らせシリーズ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
20 台	令和 3 年 9 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
認知症症状の強い方、また夜間帯の居室に設置した。起き上がり時にセンサーが反応するので安全に離床、トイレ等の対応ができるようになった。導入後も引き続き、使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
転倒・転落リスクのある利用者が非常に多く、入所定員100名+短期入所定員18名に対し、特に人員が手薄な夜間の見守りの負担が大きくなっているため、利用者の転倒・転落防止及び介護職員の精神的・身体的負担の軽減を目標とした。  
導入したことで利用者の動きを事前に知ることができ、事故件数の減少や安全な生活維持、職員にとっても対応人数の少ない夜間帯でもセンサーがあることで心身ともに負担が軽減された。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
センサーマットはトイレへ行きたい方、起きられた方の転倒リスクを回避し、安全に対応、誘導することができるようになった。  
センサーマットは排泄の失敗時に故障の原因となっていたが、新しい徘徊センサーは広範囲に設置でき、マットと違いコールの鳴りっぱなしが減少し、職員の心身負担軽減が図られる効果もあった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
特にありません。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 岐阜県厚生農業協同組合連合会  
施設名 岐阜・西濃医療センター西美濃厚生病院介護医療院  
施設の種別 介護医療院

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)モルテン	アメリア(エアマットレス)MELA83
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 3 年 11 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・認知症等の行動予測、ナースコールの使用が困難な利用者の不意な起上り動作等に迅速な対応が必要な時。  
・循環動態が不安定な状態の利用者、体格の良い利用者、拘縮がみられる利用者の体位変換における外圧部や摩擦による褥瘡の予防が必要な時。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

転倒・転落リスクのある利用者が多く、入所定員56名の内、認知症等により身体異常時に意思表示ができず、見守りが必要な利用者が15名以上入所しており、介護職員の夜間の見守り等による負担が大きいため、精神的・身体的負担の軽減が目標である。既存の離床センサーより感度がよく、ナースコール(院内PHS)と接続したことで、認知症等によりナースコールの使用が困難な利用者の不意な起上り動作に迅速な対応が可能となったが、体重が30kg以下の利用者はセンサーが反応しないため、身体的な負担軽減に繋がっておらず、令和4年度にて「眠りスキャン」を導入し併用で運用している。しかし、ターミナル等の寝たきりの利用者における褥瘡予防の効果大きく、介護職員等による体位変換に係る時間も減少している。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

認知症、行動予測が困難な方など入所者の体動・離床をナースコールと連動し、転倒・転落予防等の見守りが必要な方に対するスタッフの負担軽減に繋がっている。  
また、除圧調整機能による体圧分散により、褥瘡等のリスクがある入所者に有効で最小限の体位変換(圧抜き等)が可能となっているため、夜勤の巡回時等における体位変換に伴う業務量が削減できたと、介護職員から概ねの評価は得られている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

機器の側面にある離床センサーのコードが折れ曲がりやすいため、断線等に注意しながらシーツを交換する必要があり、従前より時間を要する。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ **3年目** )

法人名 医療法人 瑞岐会  
施設名 介護老人保健施設ひざし  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りスキャンNN-1320
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
30 台	令和 4 年 3 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・眠りスキャンをベッドマット下に常時設置し利用者の睡眠状態、心拍、呼吸などを測定しパソコン及びiPadのモニター上にて数値を観察している。また記録システムと連動させ夜間帯のデータを定期的に自動記録している。  
<使用場面>  
利用者の睡眠状態の把握、ターミナルケア対象者の呼吸、心拍データの把握、転倒リスクのある利用者の睡眠又は覚醒状況の把握等。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
・見守り機能の活用により転倒転落事故を減少させる。  
→転倒リスクの高い利用者を使用することで、「睡眠」、「覚醒」、「起き上がり」、「離床」の状態がモニター上で確認でき、またアラート設定をすることで視覚・聴覚にて転倒リスクを事前察知することが出来ている。  
・利用者の睡眠状況を把握し適時適切なケアを提供する。  
→夜間の排泄ケアにおいて、「覚醒」時に介入することで利用者の睡眠を妨げないケアが出来ている。適切なタイミングで排泄ケアに介入することで衣類汚染等の防止に役立っている。  
・ターミナルケアにおける職員の心理的負担を軽減する。  
→職員アンケートの結果、94.1%の職員が心理的負担の軽減に「非常に有効」又は「有効」と回答。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
<職員アンケート結果 令和6年3月実施 回答数17名>  
設問1 眠りスキャンは職員の身体的負担の軽減に有効ですか？  
→「非常に有効」35.3%、「有効」52.9%、「どちらともいえない」11.8%、「あまり有効ではない」0%、「有効ではない」0%  
設問2 眠りスキャンは職員の心的負担の軽減に有効ですか？  
→「非常に有効」35.3%、「有効」41.2%、「どちらともいえない」5.9%、「あまり有効ではない」0%、「有効ではない」0%  
<人員体制等>  
利用者:職員(介護及び看護)=2.32:1、離職率=6.5%、平均有給取得日数=10.0日、月平均残業時間=2.8時間

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
・マットレスの厚さや種類(エアマット)によって誤作動をすることがあり、表示上のご利用者の状況と実際の状況が異なることがある。  
・非常に有効に活用できており、可能であれば全利用者に使用したいが、導入費用が多額となるため設置台数が限られている。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 有限会社百々  
施設名 グループホーム百々  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 11 月 22 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・18室中、特に見守りが必要とみられる3名を対象に眠りセンサーを設置。
- ・24時間365日、センサー情報を送受信。デスクトップPCモニターにて睡眠の状況をリアルタイムで観測および記録を実施。
- ・デスクトップPCモニターは、介護職員がいつでも目視できるフロア横に設置。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・入居者様の安全・安心の確保 ⇒ 使用対象者3名について概ね達成
- ・夜勤スタッフの心的負担軽減 ⇒ 使用対象者3名について概ね達成

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・夜間の巡視を削減・・・PCモニターで熟睡で表示されている場合は居室内の巡視を削減できた。(夜勤スタッフの心的負担軽減)
- ・使用対象者の睡眠の質の向上・・・熟睡時に睡眠の妨げとなる不要不急なケアを減らし、睡眠の質の向上が図れた。(入居者様の安全・安心の確保)

・介護従事者の満足度について・・・18室中3台のみの限定的設置なため総合的な効果は薄く感じられている。令和5年度以降も継続して3台追加導入し18室全てへの設置を計画する。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・18室中、3台のみ導入のため、使用する対象者が限定的であること。(令和5年度以降も継続して追加導入を計画)
- ・通信環境の不具合等が原因で送受信エラーが発生するケースやデータ受信にタイムラグが発生すること。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 有限会社百々  
施設名 グループホーム百々各務原  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 11 月 24 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・18室中、特に見守りが必要とみられる3名を対象に眠りセンサーを設置。
- ・24時間365日、センサー情報を送受信。デスクトップPCモニターにて睡眠の状況をリアルタイムで観測および記録を実施。
- ・デスクトップPCモニターは、介護職員がいつでも目視できるフロア横に設置。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・入居者様の安全・安心の確保 ⇒ 使用対象者3名について概ね達成
- ・夜勤スタッフの心的負担軽減 ⇒ 使用対象者3名について概ね達成

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・夜間の巡視を削減・・・PCモニターで熟睡で表示されている場合は居室内の巡視を削減できた。(夜勤スタッフの心的負担軽減)
- ・使用対象者の睡眠の質の向上・・・熟睡時に睡眠の妨げとなる不要不急なケアを減らし、睡眠の質の向上が図れた。(入居者様の安全・安心の確保)

・介護従事者の満足度について・・・18室中3台のみの限定的設置なため総合的な効果は薄く感じられている。令和5年度以降も継続して3台追加導入し18室全てへの設置を計画する。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・18室中、3台のみ導入のため、使用する対象者が限定的であること。(令和5年度以降も継続して追加導入を計画)
- ・通信環境の不具合等が原因で送受信エラーが発生するケースやデータ受信にタイムラグが発生すること。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 有限会社百々  
施設名 グループホーム百々美濃加茂  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 11 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・18室中、特に見守りが必要とみられる3名を対象に眠りセンサーを設置。
- ・24時間365日、センサー情報を送受信。デスクトップPCモニターにて睡眠の状況をリアルタイムで観測および記録を実施。
- ・デスクトップPCモニターは、介護職員がいつでも目視できるフロア横に設置。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・入居者様の安全・安心の確保 ⇒ 使用対象者3名について概ね達成
- ・夜勤スタッフの心的負担軽減 ⇒ 使用対象者3名について概ね達成

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・夜間の巡視を削減・・・PCモニターで熟睡で表示されている場合は居室内の巡視を削減できた。(夜勤スタッフの心的負担軽減)
- ・使用対象者の睡眠の質の向上・・・熟睡時に睡眠の妨げとなる不要不急なケアを減らし、睡眠の質の向上が図れた。(入居者様の安全・安心の確保)

・介護従事者の満足度について・・・18室中3台のみの限定的設置なため総合的な効果は薄く感じられている。令和5年度以降も継続して3台追加導入し18室全てへの設置を計画する。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・18室中、3台のみ導入のため、使用する対象者が限定的であること。(令和5年度以降も継続して追加導入を計画)
- ・通信環境の不具合等が原因で送受信エラーが発生するケースやデータ受信にタイムラグが発生すること。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 医療法人 麩城会  
施設名 老人保健施設 西濃  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	竹中エンジニアリング(株)	ベッドセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 4 年 9 月 20 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・下肢筋肉の低下により昼夜を通して一人での移動が危険である利用者について、ベッドから車椅子への移乗等を一人で行われる場合に使用している。
- ・ベッド上での動きが多く、転倒・転落やその他事故等のリスクを抱える利用者について、居室で過ごされる時の見守りに使用している。
- ・一人での行動が危険を伴う利用者について、ナースコールを押すことができない場合に使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・利用者が起き上がる際にセンサーが反応するため、素早く居室に向かえることで、転倒・転落事故の未然防止に繋がっている。
- ・転倒・転落リスクが高い利用者については所在確認を怠らないようにしているが、センサーマットの導入によりベッド上の動作を早めに確認することができ、介護者の精神的負担軽減に繋がっている。
- ・ナースコールを押すことができない利用者の転倒事故回避に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・事前に危険を予測し転倒・転落事故等を未然に防ぐことができるため、利用者の安全確保に寄与している。
- ・人員が少なくなる夜間帯での事故発生リスクの軽減・回避を図ることができ、職員の精神的負担が軽減されている。
- ・上記のとおり、ベッドセンサーマットは、認知症の方の介助や危険行動の予測・察知において不可欠な機器であり、利用者と職員相互の安全・安心に繋がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

- ・特にありません。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人三縁の会  
施設名 サツヴァの園  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベット(株)	眠りスキャン
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
20 台	令和 4 年 10 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・事故虐待防止対策委員会で使用している、「事故発生・ヒヤリハット」報告での転倒事故等の発生時、眠りスキャンの利用状況を明記している。また身体拘束廃止委員会での、利用者監視に使用している機器等(眠りスキャン等)の使用状況を確認し明記している。  
・看取り対

象の利用者に設置し、心拍等をモニターで確認、異常があれば部屋に向かうようにしている。

・定期的利用者見守り時以外の、起き上がり、離床を確認し転倒や徘徊の防止に利用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・人員体制の改善(計画時目標)最低基準はクリアが条件

\*数値目標は5年計画で全床に眠りスキャンを完備した時点の想定。(現在は100床中50床の設置)

看護職員:日中5.5人 夜勤1人→R6年2.3月実績 日中4.8人 夜勤1人

介護職員:日中9.5人 夜勤3人→R6年2.3月実績 日中10.3人 夜勤3人

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・残業時間(看護・介護)の減少12時間(月)50%減→R6年2.3月実績 15.1時間 前年比53%

・夜勤の巡回回数10回50%減→R6年2.3月実績 20回 現状維持

介護ソフト「ほのぼの」に連携させて入所者の転倒、転落のケアをロボットに補助させることにより職員の負担軽減、業務効率のアップ(申し送りの標準化・情報の一元化)を目指している。現在「眠りスキャン」の設備が50台であり目標には届いていない。

・介護ソフト「ほのぼの」に連携する「眠りスキャン」や「アイパッド」を活用しデータの蓄積はできつつある。今後は蓄積したデータ分析を行うことで、転倒・転落防止に活用でき、職員の精神負担の軽減や事故防止にも効果が出てくる。

・残業時間の削減は、令和5年度がコロナクラスター発生時でもあり大幅に削減ができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・既存の手書き書類のフォーマットに、データ転記の互換性が困難。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 株式会社 健康理化学センター  
施設名 不動丘ガーデンヒルズ  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)バイオシルバー	aams介護セット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 4 年 10 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

利用者の急な状態変化がアラートにより通知されるとともに、毎日の睡眠状態と記録として残すことも出来る為、体調と生活状態の管理ができ、きめ細やかなケアが実現できた。痰吸入が必要な利用者の呼吸状況がモニタリングできるため、深夜帯業務の心理的負担の軽減につながった。また、そのデータを元に日々の健康状態を、医師やご家族に的確に報告ができるようになった。起上がりや離床のモニタリングもできるため、転倒やベッドからのずり落ち防止にも繋がった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

寝室のベッドにおける事故防止としては、離床による転倒やズリ落ちの等の事故防止に繋がったが、センサーがなってから訪室するまでの間に事故が発生してしまうこともあった。急な状態変化(呼吸困難・心停止)時におけるアラームは音が変わっているため救急処置を施した事例もあり、業務の質向上につながった。また、見取り期の利用者についてデータをもとに医師や家族に説明ができるため安心して納得の報告ができた。求人面においても、センサーマットがあるため、心理的業務軽減につながり、スタッフ募集時の良い判断材料となった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

重篤な症状の利用者において常時モニタリングができるため、定期的な巡回の回数を減らす事ができた。さらに夜間帯の巡回の回数を減らすことによって利用者がゆっくり睡眠が取れるようになり、喜んでいただけた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

認知症やよく離床する利用者の場合、センサーのなる頻度が多いため、鳴るたびに寝室にいかねばならなかった。しかし、センサーの設定を個別に行い利用者の特性や症状に合わせた設定を行うことによって、これを回避できた。センサーマットと繋がるカメラとマイクの導入ができれば、更に効率が上がると思われる。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団仙寿会  
施設名 介護老人保健施設仙寿苑  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)テクノスジャパン	徘徊コールⅢ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
12 台	令和 4 年 10 月 20 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

①センサーマットが反応し、訪室すると、マット上に長座位になっていた。ベッドからずり落ちたと思われる。すぐに職員が駆け付け体勢を整えることができ、大事に至らなかった。

②L字バーにつかまり、立ち上がろうとしたが支えきれず左ひざが床につきセンサーマットが反応した。筋力低下により転倒リスクが高いため、移乗の際は職員を呼ぶよう声掛けをした。

※使用している台数は4月4日現在22台(満床60床)

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

①転倒・転落リスクの高い利用者の居室を必要以上に訪室する回数が減り、他の業務に時間を充てることができた。

②夜間は人員が少ないため、訪室回数を減らせたことにより夜勤者の負担軽減につながった。

③利用者が立ち上がりや離床する際にセンサーが作動することで、必要に応じて介助が行うことができる。

④センサーが作動することにより動きを検知することができ、転倒防止につながっている。また、早めに対応することができるため、配置基準を満たした上での最少人数での見守り体制ができ、見守りは導入前より強化できている。

引き続き、見守りの強化という点においては目標は達成できていると考えられる。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

①センサーマットで利用者の動きを把握することができ、職員の精神的な余裕も生まれた。最少人数での見守りが整ったため、交代で十分な休憩時間を確保できることにもつながった。

②夜勤帯の頻回な巡視が減り、体力的、精神的負担軽減となった。

③利用者は介助が必要なときに職員が訪室してくれることで安心できる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

スイッチの入れ忘れにより、センサーが作動せず転倒につながった事案もあるため、必ずスイッチを入れる意識付けや、確認をする工夫が必要である。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団仙寿会  
施設名 仙寿苑ショートステイ悠々  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)テクノスジャパン	徘徊コールⅢ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 10 月 20 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

①センサーマットが反応し、訪室すると、マット上に長座位になっていた。ベッドからずり落ちたと思われる。すぐに職員が駆け付け体勢を整えることができ、大事に至らなかった。

②L字バーにつかまり、立ち上がろうとしたが支えきれず左ひざが床につきセンサーマットが反応した。筋力低下により転倒リスクが高いため、移乗の際は職員を呼ぶよう声掛けをした。

※使用している台数は、平均すると1日当たり5台(満床20床)

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

①転倒・転落リスクの高い利用者の居室を必要以上に訪室する回数が減り、他の業務に時間を充てることができた。

②夜間は人員が少ないため、訪室回数を減らせたことにより夜勤者の負担軽減につながった。

③利用者が立ち上がりや離床する際にセンサーが作動することで、必要に応じて介助が行うことができる。

④センサーが作動することにより動きを検知することができ、転倒防止につながっている。また、早めに対応することができるため、配置基準を満たした上での最少人数での見守り体制ができ、見守りは導入前より強化できている。

引き続き、見守りの強化という点においては目標は達成できていると考えられる。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

①センサーマットで利用者の動きを把握することができ、職員の精神的な余裕も生まれた。最少人数での見守りが整ったため、交代で十分な休憩時間を確保できることにもつながった。

②夜勤帯の頻回な巡視が減り、体力的、精神的負担軽減となった。

③利用者は介助が必要なときに職員が訪室してくれることで安心できる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

スイッチの入れ忘れにより、センサーが作動せず転倒につながった事案もあるため、必ずスイッチを入れる意識付けや、確認をする工夫が必要である。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 美谷会  
施設名 特別養護老人ホーム飛鳥美谷苑  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)テクノスジャパン	コールマットHC-3
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
9 台	令和 4 年 9 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

主に、車イス利用者の方7名、歩行器使用の方2名に使用している。日中・夜間等、利用者がベッドから移動する際の転倒注意の為に使用している。

基本的には、常時設置となるがベッドで休まれる際に、センサーをONにして使用している。多い利用者で、1日に10回程度ナースコールと連動して通知されている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

常時見守りが必要な利用者に対し、コールマットを使用する事で、ナースコールで声掛けを行いながら居室まで移動する事ができるため勤務する職員の精神的な負担の軽減となっている。また、令和3年度と合わせて17台の導入になったことにより職員配置が少ない日であっても安心してナースコールがなってから対応ができるため余裕をもって勤務できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

センサー導入後にベッド付近での転倒リスクが軽減されたため、職員にゆとりが持てるようになってきた。また、転倒による怪我の発生件数も減り、報告書作成などの職員の業務負担軽減にもなっている。また、ナースコールと連動していることで、どこの部屋で誰が動いているか把握できるため、見守りが容易となった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 薫風会  
施設名 特別養護老人ホーム エバーグリーン  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器 (介護施設型)	株式会社モルテン	高機能エアマット アメリア 91幅
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 11 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】  
※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

看取り介護でベッド上での生活が中心となっている方で、全身に強い拘縮があり、自力で体位交換が出来ないため、仙骨に褥瘡形成を繰り返しているため使用している。

## 3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】  
※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

介護者が行う2~3時間おきの体位交換を実施していたが、他利用者様の対応などで体位交換に伺うことが出来なかった場合でも、マットレスが定期的に、縦~横~傾きの三方向から除圧を行ってくれるため、悪化傾向にあった仙骨の褥瘡がほぼ改善された。

【介護ロボットの導入効果】  
※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

体位交換に行かなくてはと分かっていても、他利用者様の対応であったり、尿便失禁などのアクシデントが起きれば、すぐに伺うことが出来ず、それによって褥瘡が悪化したとなると、精神的に大きな負担となっていたが、除圧を行ってくれるマットレスの導入で褥瘡が改善され、精神的な負担が減っただけでなく、褥瘡が改善されたことで処置にかかる時間も少なくなった。

## 4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】  
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

特になし

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人さくらゆき  
施設名 特別養護老人ホームさくらの舞  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	aams 介護セット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 4 年 11 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

夜間帯の見守りにおいて、要見守り者の離床の有無やリアルタイムで確認することで、事故防止に繋がっている。また、脈拍や心拍の変化がわかるため、様態の変化によるご家族様への連絡判断基準の一つの指標となっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・医療的配慮が必要な方が増えてきており、脈拍や心拍のバイタルサインによるアラート機能やカメラ連動による状況確認を行うことで早期に異常の発見を行えるようになりつつある。また、事故の原因を追及することができるようになり、ご家族様への丁寧な説明や、今まで解明できなかった原因を特定することで、事故予防に繋げることができるようになってきている。  
・使い方や、パソコンの設定方法などが定着したため、設置等にかかる時間も短縮されたことで必然的にご入居者との時間を確保できるようになっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・ご入居者の睡眠動向がデータで把握できるようになり、生活リズムを把握することで、一人ひとりに合わせた支援に生かすことができている。  
・離床センサーのみの使用の場合、音がなった場合必ずご入居者の状況の確認をしていたが、カメラ映像で確認できるため、職員の負担軽減に繋がっており大変満足している。  
・夜間帯20時～0時の間は20人に対して2人の人員配置を、段階的に1人とする目標に対し、22時～0時に1人配置とすることが可能となっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

離床時のセンサー感知が、離床センサー単独商品を設置するより若干遅れることがあり、今後の改善に期待したい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人さくらゆき  
施設名 ショートステイさくらの舞  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	aams 介護セット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 11 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

夜間帯の見守りにおいて、要見守り者の離床の有無やリアルタイムで確認することで、事故防止に繋がっている。また、脈拍や心拍の変化がわかるため、様態の変化によるご家族様への連絡判断基準の一つの指標となっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・医療的配慮が必要な方が増えてきており、脈拍や心拍のバイタルサインによるアラート機能やカメラ連動による状況確認を行うことで早期に異常の発見を行えるようになりつつある。また、事故の原因を追及することができるようになり、ご家族様への丁寧な説明や、今まで解明できなかった原因を特定することで、事故予防に繋げることができるようになってきている。  
・使い方や、パソコンの設定方法などが定着したため、設置等にかかる時間も短縮されたことで必然的にご入居者との時間を確保できるようになっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・ご入居者の睡眠動向がデータで把握できるようになり、生活リズムを把握することで、一人ひとりに合わせた支援に生かすことができている。  
・離床センサーのみの使用の場合、音がなった場合必ずご入居者の状況の確認をしていたが、カメラ映像で確認できるため、職員の負担軽減に繋がっており大変満足している。  
・夜間帯20時～0時の間は20人に対して2人の人員配置を、段階的に1人とする目標に対し、22時～0時に1人配置とすることが可能となっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

離床時のセンサー感知が、離床センサー単独商品を設置するより若干遅れることがあり、今後の改善に期待したい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人イーストヘルスケアソサエティ  
施設名 特別養護老人ホーム コート・スマイル  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオシルバー	aams/アアムス
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
20 台	令和 5 年 3 月 6 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

補助対象台数は20台であるが、全床100台導入したことによって、全入所者の心拍や呼吸を把握することができている。離床時に転倒の危険性が高い利用者は、感圧センサーとカメラを連動させて使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

人員体制については、介護ロボットの活用で目標である人員配置は計画通りの業務が可能となっている。巡回回数の削減はaamsの個別設定により削減できた利用者もいたが現状大きく削減できていない。次年度の目標として、個人設定を細かく行い回数の見直しを行う予定である。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

aamsの導入により、心拍や呼吸がモニター表示されているため、特に夜勤者の精神的負担の軽減に努めることができた。転倒の危険性の高い入所者は、設定により離床時にカメラで確認できるため、頻回な訪室が減り、職員の負担軽減と入所者の安全に配慮することができている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

巡回時間の削減には、aamsの個別設定が必要であり、身体状況の変化に合わせた対応が求められる。多くの介護職員が設定や機能を習得する必要があるため、次年度の課題として取り組みたい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人白川町社会福祉協議会  
施設名 特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
12 台	令和 4 年 9 月 29 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
ターミナルが近い方の心拍、呼吸状態を眠りスキャンで事前の確認をし、何度も訪室する必要がなくなったが、状態が悪い為、直接の確認は行っている。施設のセンサーより先に眠りスキャンのアラームが作動する為、センサーがなる前に居室に伺い、様子を見てからトイレ誘導を行う事ができたこともある。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
こぶしは、ユニットの動線があり、入居者の人数が多い為、一つの画面で動きが確認できるのは、助かっている。  
深夜帯、何度も電気をつけて確認することで眠りの妨げになる事もあり、眠りスキャンを観ながら巡回が行えた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
深夜帯、看護師不在のなか、特定技能の職員と一緒にケアに入る事が多く、ターミナルの方の呼吸状態や心拍をすぐに確認できる事は、助かっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
入居者の方がコードを引っ張って故障することがある為、コードの強度を上げて頂けると助かります。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人白川町社会福祉協議会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホームサンシャイン美濃白川  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 9 月 29 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
新規の入居者が数名入ったことでその方々全員に眠りスキャン設置し、データを見る事でそれぞれの夜間の入眠状態、睡眠の質、起床時間など把握した。  
また、センサーが鳴った時にすぐに訪室しても既に歩行されていたというヒヤリハットも挙がったため、アラームをセットし、起き上がりのタイミングで鳴る事でベッドに端座位になる一歩手前で気づく事が出来るようになった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
主に夜間の睡眠状態を画面を見たり、データを確認する事で把握できるため、導入以降眠りスキャンの使用頻度は高く、必要不可欠なツールとなっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
ターミナルの方に使用していた際には呼吸・心拍を確認することで、今どういった状態なのか確認できた。  
昨夜の睡眠状況を職員間で共有し日中の過ごし方に配慮し過ぎて頂けている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
入眠になっても起きている時がある。  
入居者によってアラームの音を変えているがもう少し種類があると良い

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人白川町社会福祉協議会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホームあいらんど美濃白川  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 4 年 9 月 29 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・臥床時
- ・転倒リスクの高い方の起き上がりのタイミングで通知を作動できるようにしている。
- ・睡眠状態を確認し、その人に合わせながら離床やトイレ誘導を行っている。
- ・夜間の睡眠状態を確認して、午前中に休憩時間や日中の活動を提供している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・眠りSCANのセンサー音があることで、早く対応することができ、深夜帯は特に安心して行なうことができた。
- ・よく眠っている方は、日中でもそのまま休んでいただいたり、起きている方は離床し活動したりと、眠りSCANでの様子も含め、対応することができた。
- ・モニターを見て、覚醒状態を確認し、早めの対応をすることができた。(トイレ誘導のタイミングなどを知ることができた)

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・離床センサーやフットセンサーより先に眠りSCANが作動するため、すぐに対応できる。ユニットをまたいで対応でも、迅速に対応できる。事故防止につながった。
- ・画面を見るだけで、しっかり眠れているのかが分かるので、眠れていない方に対して、日中休んでいただく等の対応を行うことができた。
- ・夜間の眠りの様子を知ることができた。(日中眠気の強い方など)
- ・覚醒状態や体動を知ることができた。
- ・アラームを活用することで、早めの対応ができ、事故防止につながったので良かった。
- ・センサーを使用している方で動きの早い方は、起き上がり通知が作動することで、一足先に様子を伺うことができる。細かな体動や寝返りも分かるため、危機感を持って他のケアに当たることができる。
- ・日中眠りが強い方の夜間の眠りの深さを知ることで、日中の過ごし方を工夫できる方もいる。
- ・眠気の強い時の排泄介助に抵抗のある方など、眠りの浅いタイミングで排泄介助に入ること、抵抗が少なく感じることもあった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- ・体動がなく覚醒されていても、『睡眠』になっていることがある。
- ・眠りの具合が、実施の利用者の様子とモニター表示が異なっていることがある。
- ・他施設で、有効的な活用方法をしているところがあるのなら知りたい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人白川町社会福祉協議会  
施設名 グループホームかわばた荘  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	トーテックアメニティ	見守りライフ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 11 月 17 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
ベッドで起きられた事が分かるように、見守りや付き添いが必要な方に設置、個々の状態に合わせて、センサーがなるタイミングを設定している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
センサー作動で訪室し、付き添いや見守りが行えている部分もある。  
睡眠や呼吸状態をパソコンやスマホの画面で確認ができています。  
呼吸警告のセンサーが作動する方があり、呼吸状態の様子を知る事ができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
毎日の記録が残り、パソコンの画面で見える事ができるので、睡眠状態や起きられた回数等が確認できるようになり、睡眠のリズムが知り得た。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
電波が悪くなる事もあり、センサーが作動しなかったり誤作動があり、すぐに訪室できず対応が遅れてしまう事があり、見守りセンサーだけに頼れない部分がある。  
2台あるスマホで一台がセンサーの作動せず、もう一つのユニットへ応援に行けない事もあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 株式会社ライフ・サポート  
施設名 ロータスショートステイ大垣  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオシルバー	aams介護ナースコール接続・カメラセット 無線
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 4 年 11 月 2 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・ベッドからの転落・転倒の危険性の高い方やナースコールを鳴らすことが出来ない方等について、継続・優先して利用している。  
また、介護記録ソフトとの連動によって、心拍数や呼吸状態等の情報を記録している。(現在40床中32床使用)

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・転倒・転落リスクのある利用者が非常に多く、日夜通じての見守りの負担が大きくなっていましたが、見守りシステム(aams)を導入した事によって、常に注意を払う必要が無くなり、精神的・身体的負担の軽減に繋がっている。また、業務の効率化が図れたことにより、休憩中の呼び出しの削減になった。  
→休憩時間(1時間)の確実な確保に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・見守りシステム(aams)を導入したことによって、離れた場所でも複数同時に早期に離床につながる状況を把握できるようになり、転倒・転落を未然に防ぐことが出来るようになった。また、日中・夜間問わず不要な居室訪問を減らすことができ、ご利用者の睡眠の妨げをすることが少なくなった。  
・見守りシステム(aams)を導入したことによって、ご利用者の身体状況が把握できるようになった為、職員の精神的な負担軽減に繋がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・センサーの感度が良すぎる為、少しの体動でも反応してしまい、逆に手間になる事もある。また、感度調整が難しく十分に使いこなすには時間がかかる。  
・カメラに拒否反応を示すご利用者がみえる。  
・介護記録ソフトとの連動不具合が見られる。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 株式会社ライフ・サポート  
施設名 ロータスデイサービス大垣  
施設の種別 通所介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社バイオシルバー	aams介護ナースコール接続・カメラセット 無線
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
6 台	令和 4 年 11 月 2 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・ベッドからの転落・転倒の危険性の高い方やナースコールを鳴らすことが出来ない方等について、継続して利用している。  
また、介護記録ソフトとの連動によって、心拍数や呼吸状態等の情報を記録している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・静養中のベッドからの離床時に際して起こりうる転倒・転落事故を防ぐことが出来ている。  
→レベルⅢ以上のアクシデント 0件  
・見守り業務の効率化が図れ、介護職員の労務負担の軽減が図れている。  
→休憩時間(1時間)の確保が出来ている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・危険動作の予兆が検知できることにより、転倒・転落事故を未然に防ぐことが出来ている。  
・静養者の身体情報が確認できる為、必要以上の訪室をしなくても良くなり、介護職員の精神的・身体的ストレスの軽減に繋がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・aams1台ごとに細かい設定が必要である。感度が高すぎると少しの体動だけでアラームが鳴ってしまい無駄な訪室が発生してしまった。逆に感度が低すぎると、すでに離床した状態で発見することもあった。  
・ご利用者ごとの細かい設定が難しい。  
・介護記録ソフトとの連動がうまくいかない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団カワムラヤスオメディカルソサエティ  
施設名 介護老人保健施設カワムラコート  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	エスパシアシリーズベット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
40 台	令和 4 年 12 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

日々の看護・介護業務に使用している。ベット上での食事介助や経管栄養、喀痰吸引など、利用者の病状やADLに合わせてベットの高低やギャッジアップができるため、利用者の観察がしやすくなり、拘縮の強い利用者など、個々に合わせた看護・介護がしやすくなった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

導入前は、腰痛を訴える職員が多くおり、実際に休職に至った職員もいたが、導入後、腰痛を訴える職員は現在1名まで減少した。この1名も手動タイプの旧式ベットのフロアで勤務しているため、電動式に変わることによって腰痛の訴えはなくなると考えられる。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

導入効果による人員の削減までには至っていないが、職員の肉体的負担は格段に改善している。また、介護度の軽い利用者の場合、職員をナースコールで呼ばなくても自らコントローラーで背もたれの調整ができるため、顧客満足度も上がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ベット柵が中央に取付できないため、ベット上で食事をする際は、キャスター付きのオーバーテーブルを差し込むか、4点柵の状態ですり減るか、足元の柵のみを使いテーブルセットするしかないため不便。体動が激しい利用者の場合は4点柵にするしかなく、身体拘束にあたってしまふ。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 野原電研株式会社  
施設名 ロイヤルステージ大垣  
施設の種別 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	ワイヤレスセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
9 台	令和 4 年 10 月 3 日	令和 - 年 - 月 - 日から 令和 - 年 - 月 - 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・当施設は1階から6階まで計62室の完全個室の施設です。入居者の室内での状況把握やナースコール時にクイックに訪室できないことが実情としてあります。入居時は健康であっても認知症の進行やADL低下により見守りが必要になった方への対応に有効活用しています。特に転倒リスクがある方や徘徊癖がある方の部屋の前に置く等して活用しています。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

基準：4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,753時間 (日中 2,209時間 夜間 544時間)

目標：4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数の**3%削減** 2,670時間 (日中 2,143時間 夜間 528時間)

結果：6年3月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,366時間(**14.1%削減**) (日中1,835時間(**16.9%削減**) 夜間531時間(**2.4%削減**))

・効果的に運用できており確実に時間削減につながってきています。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・訪室までの導線が長い施設なので職員が移動する距離も長く、身体的負担軽減の削減に大きく貢献しています。同時にセンサーマットが導入してあるという安心感があり精神的負担も大きく軽減しています。  
・インカムも活用することにより効率的な見守りができるようになり、介護にあてる時間が多く確保でき入居者、職員の満足感につながっています。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・センサーの反応が遅いものもあり、100%過信することなく対応するようにしています。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 野原電研株式会社  
施設名 グループホーム・柚子  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	ワイヤレスセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 10 月 3 日	令和 - 年 - 月 - 日から 令和 - 年 - 月 - 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・居室で日中に静養される際と夜間帯の就寝時に使用しています。
- ・使用時にはカルテに記入。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

基準:4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 1,278時間 (日中 1,030時間 夜間 248時間)

目標:4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数の**3%削減** 1,240時間 (日中999時間 夜間 241時間)

結果:6年3月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 950時間(**25.7%削減**) (日中702時間(**31.8%削減**) 夜間248時間(**変わらず**))

・大幅な時間数削減は他要因によるところが大きですが、ロボット導入効果も一部あると思料。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・夜間帯でのトイレ介助に負担軽減できています。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・時々センサーマットの誤操作があります。(センサー反応がなかったり、遅かったりすることがある。)100%過信することなく一定の誤作動があることを認識したうえで取り扱う用全職員に徹底しています。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 野原電研株式会社  
施設名 グループホーム・ハッピー桜  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	ワイヤレスセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 10 月 3 日	令和 - 年 - 月 - 日から 令和 - 年 - 月 - 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・居室での静養時、夜間センサーマット活用しています。
- ・居室内まで職員が目が行き届かない為、センサーマットによっていち早く利用者様の行動に気付く事が出来る。
- ・利用者様によっては、転倒される方もいらっしゃる為センサーマットの活用に助けられています。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

基準: 4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,358時間 (日中 1,862時間 夜間 496時間)

目標: 4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数の**3%削減** 2,287時間 (日中 1,806時間 夜間 481時間)

結果: 6年3月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,110時間(**10.5%削減**) (日中1,638時間(**12.0%削減**) 夜間472時間(**4.8%削減**))

- ・確実に導入効果はあると思います。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

センサーマット導入によって、職員不足への見守り不足が緩和されたと思います。センサーマットに頼りきりではいけません、一つの気づきとしていち早く利用者様の元へ伺う事が出来るようになったと思います。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・センサーマットの一時停止ですが、オムツ交換や介助で時間がかかってしまう事がある場合に、一時停止解除されてしまう事が少し手間である事を感じます。
- ・親機に3つまでセンサーマット登録できますが、あまり用途として必要ではなく使用に不便と感じてしまいます。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 野原電研株式会社  
施設名 ショートステイ・柚子養老  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	ワイヤレスセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 10 月 3 日	令和 - 年 - 月 - 日から 令和 - 年 - 月 - 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・夜間、認知症の為ナースコールをうまく理解出来ずに動かれ、転倒のリスクがある方に使用しています。ほぼ毎日使用しています。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

基準：4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,070時間 (日中 1,782時間 夜間 288時間)

目標：4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数の**3%削減** 2,008時間 (日中 1,729時間 夜間 279時間)

結果：6年3月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 1,907時間(**7.9%削減**) (日中1,555時間(**12.7%削減**) 夜間352時間(**22.2%増加**))

・着実に時間外削減につながっています。(夜間の勤務時間増は別要因)

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・効果として、転倒リスクのある方にかかる時間を軽減する事が出来、他者の介護にかかる時間を作れたり、職員の心理的負担の軽減があります。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・センサーマットは、利用者さんご本人が「鳴らないように」と気を使い、マットを避けて居室から出てくる事があります。なにか、もっと目立たないようなものになると良いかと考えています。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 野原電研株式会社  
施設名 グループホーム・柚子養老  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	バイオシルバー	ワイヤレスセンサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 10 月 3 日	令和 - 年 - 月 - 日から 令和 - 年 - 月 - 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・夜間、認知症でコールのボタンが理解出来ない方、転倒のリスクの高い方に使用。毎日使用しています。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

基準:4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,115時間 (日中 1,619時間 夜間 496時間)

目標:4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数の**3%削減** 2,052時間 (日中 1,570時間 夜間 481時間)

結果:6年3月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,156時間(**1.9%増加**) (日中1,660時間(**2.5%増加**) 夜間496時間(**変わらず**))

・より効率的・効果的に活用できるよう努めます。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・効果としては、転倒リスクのある方にかかる時間を軽減する事が出来たり、他の利用者さんにかかる時間を作れたりしています。職員の精神的肉体的負担を軽減する効果があります。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・利用者さんご本人が気を使い、「鳴らないように」と避けたり、ベッドの下にしまったりされる事があります。いかにも「マット」という感じではなく、居室に馴染むようなものになったらいいと思います。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団稲葉会  
施設名 芥見グループホーム  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	TECHNOS	センサーマット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 10 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
毎日夜間にベッドの下に設置し確認。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

歩行不安定な方が夜間眠れず、起き立ちあがり動かれ転倒していたが、アラームで知らせてくれるので、転倒はなくなり事前に防げるようになった。すぐに居室に行き、対応することができるようになった。  
の転倒はなくなっている。

夜間

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

これまで巡回時に転倒していたことがあったが、センサーマットにて立ち上がったことを知らせてくれるので、転倒のリスクがなくなり、精神的な負担もなくなった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

不都合…マットが滑る、マットの角が反り返ってしまう。利用者の足や車いすに引っかかってしまう。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 医療法人馨仁会  
施設名 老人保健施設 花トピア可児  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ケアコム	マットセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 4 年 11 月 7 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
移乗時に見守りまたは一部介助の必要があるが、ナースコールで知らせていただけない利用者のベッドサイドに使用。端坐位になりマットに着地した時点でナースコールが鳴動するように接続している。



## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
端坐位から移乗まで、ある程度時間のかかる方(自身で靴を履くなどする方)には最適。着地したときの間隔も違和感なく使用されている。足底の着地時点でナースコールがなるため、移乗動作の前に訪室し、見守りや一部介助が可能で、移乗時の失敗がなくなった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
特に夜間において、トイレへ行く方に使用することで、足底着地時点でナースコールが知らせてくれるため、無駄に様子を伺いに訪室する必要がなく睡眠を妨害することもない。また、体調不良者や看取りの方の観察等に安心して時間を使うことができるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
床敷のため、車いすが載ったり、掃除の際に動かしたりすることが多く、赤外線センサーやマットレスセンサーに比べて不具合も安い印象がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 宗教法人 天理教若高分教会  
施設名 シニアホーム高山  
施設の種別 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド株式会社	見守りセンサー「眠りSCAN」
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
12 台	令和 4 年 9 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

眠りSCANは令和3年度に10台、令和4年度に34台、令和5年度には12台を導入して現在56台の眠りSCAN、介護ソフトウェア「ケアカルテ」、ナースコール「ビーナース」、携帯端末「iPhone」「iPad」を全て連動のもと運用している。眠りSCANからのベッド上の状態やナースコールのコール情報も全て介護記録に自動記録されている。本館1階・2階・別館1階・2階のうち本館全室・別館1階は全て眠りSCANが導入済のため、夜間の巡視回数5回のうち2回は眠りSCANの専用モニターを確認することで巡視回数を3回に削減して夜勤職員の業務省力化を図っている。残りの眠りSCANは、看取り対象者、睡眠障害のある方、重度認知症者等に優先して使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りSCAN導入時は、看取り対象者の異常の早期発見、睡眠を妨げないように覚醒時の訪室、夜勤時の巡視回数の削減等を目標としていた。看取り対象者の場合は終末が近づくと眠りSCANの心拍・呼吸情報にあきらかな変化が見られ、ご家族にその情報を伝えて面会を促すことで、家族に見守られながら亡くなるケースも増えている。容態急変時もほぼ同時にコール情報が受けられるため職員も安心して業務に専念できている。

定期巡視時も専用モニターで睡眠状態の利用者様はできるだけ訪室を控え、覚醒状態の利用者様には必要な介護サービスを提供することで、利用者様の睡眠を最大限確保でき、職員は不必要な巡視を省略することができている。夜勤時の巡視回数についてもご家族に説明と同意を得て5回から3回に削減しているが、利用者様の安全や快適性には影響はみられず、逆に睡眠の確保と職員の負担軽減に繋がっているとの意見が大多数となっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

利用者様の安静状態が専用モニターや携帯端末で一目で確認できる上、心拍・呼吸の異常も一人ひとり設定によりコール通知があることで、職員の精神的負担が大幅に軽減されて、安心して業務に専念できている。

朝の起床時も覚醒状態の利用者様から優先して介助にあたることで、利用者様は気持ちよく起床することができ、介助時の利用者様の動作も寝起き直後と比べてスムーズでより軽介助で行うことができている。

心拍数や呼吸数、睡眠の状況は介護記録にてグラフで常時確認でき、体調異変時も貴重なバイタル情報として活用されている。特に睡眠データは担当医師にも提供して、眠剤を処方する際や薬の評価などに活用されている。受診時に各データや記録情報を提供することで、いびきなどの症状の無い方でも睡眠時無呼吸症候群と診断されCPAP導入に繋がった例もある。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

離床センサーとしてはタイムラグがあるため、転倒リスクの高い利用者様には別に転倒防止用のセンサーマットで対応している。(新製品では離床検知専用オプションあり)

iPhone(携帯端末)全16台のうち1~2台に通話やコールが繋がらないケースが稀にある。他のiPhoneがカバーするため大きな支障はきたしていないが、不調の原因がiPhone本体又はインストールしているアプリ、WiFi設備等を特定することが難しいケースがあり、システム設計業者と協力しながら確認作業を行っている。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 独立行政法人地域医療機能推進機構  
施設名 可児とうのう病院附属介護老人保健施設  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ユニバーサル・サウンドデザイン(株)	comuoon mobile type Hsg
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 10 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・入所者家族の面会時
- ・嚥下体操実施時

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・面会での満足度向上効果  
窓越し面会や、高齢化に伴う難聴者時に効果があり、意思疎通がスムーズである。  
会話が弾み、入所者と家族とも面会時間を楽しく過ごすことができている。
- ・人員不足補助効果  
嚥下体操時に2人体制であったが、1人体制とした。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・嚥下体操 1回/1日(職員 2人体制→1人体制)
- ・レクリエーション 2回/月(職員3人体制→2人体制)
- ・面会 3~4回/1日(面会時の付添1名→必要とはんだんしたのみ)

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・現在のところ不都合はありません。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートタウン平成の杜  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	N&Fテクノサービス株式会社	Neos+Care
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
6 台	令和 5 年 1 月 18 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
転倒リスクの高い入居者や新規入居により生活状況の把握が必要な入居者に主に使用している。  
センサーから発報があった際は、モバイル端末にて居室内の状態を確認し、訪室の要否を判断することができる。複数の入居者からのセンサー反応があった際も状況を確認しながらリスクの高い方から訪室することができるため、事故防止に活用している。事故発生時は動画が残るため、発生時の状況を目視していない場合でも事故の状況に合わせた適切な対策を講じることができている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
入居者に合ったセンサーを選定し業務負担の軽減を目指した活用を行っている。  
ネオスケアにおいては転倒リスクの高い方や、行動把握が必要な方に使用することで事故を未然に防ぐことができおり、居室内での転倒事故の減少や発生した際の原因究明が困難な事例は減少している。  
ネオスケア同士の複数の発報に対し、優先順位の決定が不十分な部分もあり、アセスメント不足による事故もあり、目標における達成状況は70%程度といえる。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
・事故を未然に防ぐことで、それに付随する業務(家族連絡、報告書の作成、原因の検証、対策の検討など)が減少し業務負担の軽減ができた。  
・夜間帯など職員が一人の際の、対応優先順位や訪室回数の負担が減少した。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
職員も使い慣れてきており、業務上の見守りに使用するには特に問題ない。  
一方で設置や移設作業においてはネットワークに関する知識やPC操作に慣れている必要がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートタウン平成の杜  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社エヌジェイアイ	安心ひつじα
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 5 年 1 月 18 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
高齢で急変リスクの高い方、体調不良の方、夜間の入眠状況を正確に把握したい方を対象に、ベッドでの臥床時に使用している。  
臥床中は呼吸と心拍も検知し、異常があった場合はアラートにて通知がくるため、早期対応が可能である。  
設置後、異常検知にて早期の搬送に繋がったケースもあった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
安心ひつじαにおいては緊急時のみならず、平時の安否確認にも役立っており、導入した居室において夜間の訪室回数の減少にも繋がっている。  
全居室に導入することで入居者の安否だけでなく職員の身体的・精神的負担を大きく軽減することを目標としているが、現状は全居室の半数程度の導入率となっており、目標に対する達成度は50%程度である。  
他のセンサーも含めた見守り率は80%程度となり、安否確認だけでなく事故防止の観点からもセンサーを有効活用できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
当初1ユニット10床に導入していたが、他ユニットからも使用したいとの申し出があり、現在は複数のユニットにて急変リスクの高い入居者を中心に利用しており、急変時の対応の面などから職員の精神的負担の軽減に繋がっている。  
急変リスクの高い方は従来30分に1回など頻繁な巡視を行い、安否確認を行っていたが、安心ひつじαがあることでPCやモバイル端末上で安否を確認でき、巡視負担の軽減ができています。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
ソフトウェアの刷新がされ、使用に際する利便性は非常に良くなった。  
一方でアラートを担当フロア単位で受けることができないなど、不便さを感じる点もある。  
随時、要望を受けてアップデートを行っていくとのことで、今後更に使いやすくなるのではないかとと思われる。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートシティ中濃の杜  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	N&F テクノサービス	ネオスケア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 5 年 1 月 18 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・ネオスケアを増やした。初めて利用される方や退院された方の夜間の様子を画像にて確認が出来、コールの優先順位を決め支援に入ることが出来る。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・ネオスケアが増えたことにより、夜勤一人で、オムツ交換やトイレ支援中にコールが鳴っても、すぐに対応することが出来ないこともあったが、タブレットを持ち歩く事で、映像を確認し優先順位をつけ対応できる。  
起きた時は画像をみて事故の検証に役立ち、リスクを最小限にする事ができた。 ・事故が

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・居室を掃除する際、ベットを動かし設定した位置にずれがあったりすることがあり、職員もパートさんにも設定の仕方を業者の方に教えていただいた事で、みんなが設定出来るようになった。  
・画像判断や確認によって、訪室する回数が減少した。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・センサーが重なると、もう一つのセンサー音が消えてしまうことがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人新生会  
施設名 サンビレッジ新生苑  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド株式会社	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
27 台	令和 4 年 9 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・日中ベッド上での休養者の状態確認、夜間の睡眠状況の確認を行う。
- ・睡眠のアセスメント。
- ・体調不良がないかなどの状況確認を行う

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ・巡視の軽減(業務のスリム化):目標達成。4回→随時でできている。
- ・転倒リスクの軽減:早期にキャッチをし、転倒リスクを減少させる→キャッチできる事ですぐに向かう事ができているが、検知から間に合わず尻もちなどのリスクは現在もある。
- ・居室で過ごす利用者の動きを把握できることで、最適化ケアに繋がる。また状態に合わせての巡回ができ利用者の睡眠確保に繋がる→利用者からもよく眠れるようになった、ドアが開く音で目が覚めていたがそれが今はないと喜ばれている。
- ・職員の身体的、精神的負担軽減:移動導線が短くなること身体的状態が悪い利用者が可視化されることで安心して対応が出来る→かなり活用できている。アセスメントに利用するなどできている。職員の負担軽減も同時に達成出来ている

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・介護負担軽減  
巡視の軽減(4回→必要な際の随時)ができたことにより夜勤者の介護負担の軽減ができた。
- ・利用者家族への状況説明の際にグラフや数値で伝える事ができ、【安心】という満足度が高い。
- ・アセスメントに活用  
利用者の生活アセスメントで活用でき分析ができるため、日常のケアに生かすことができ満足。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・数値や記録の乱れが見られても実際は落ち着いており安定した状態でみえることがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 特別養護老人ホームまほろば  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・認知症の方の夜間の様子や転倒・転落のヒヤリハットが多い方などへ使用し、スマートフォンやパソコンで確認できることにより未然に防ぐことができる。又、転倒事故があった場合でも録画を確認することで原因を探り早目に対応することができる。  
・状態悪化の方の呼吸数や心拍数が確認でき状態変化にいち早く察知することができ対応することができる。  
・夜間眠りスキャンEYEを使用することで居室での過ごし方が確認でき訪室回数の軽減にもつながっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用できないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 特別養護老人ホームまほろば  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

自動除圧で体位交換の時間を減らすことができている。又、褥瘡ができた方に使用することで治癒が早く、ベット上で過ごされている方にも褥瘡予防にもつながっていると感じる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

介護職員の見守り支援業務の負担軽減効果  
体位交換による入居者、職員双方への身体的負担の軽減  
入居者の安全面に配慮でき、リスク軽減ができた

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

必要な方には、2時間ごとに訪室し、体位交換を行うため、1日に12回訪室しているが、アミアによる自動除圧を行うことで、体位交換のための訪室回数はゼロになり、職員の身体的、精神的負担が軽減された。  
入居者にとっても、身体に触れられることで起こされる問題がなく、夜間も安眠できている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

マット使用時のクッションの必要性や使用方法がまだ分からない

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホーム桜坂  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

眠りスキャンの設置は本人への負担がなく、またパソコンやスマートフォンで簡単に確認ができる。認知症状がある方の居室での行動、夜間の状態などを把握することができる。夜間不眠状態であれば、日中の行動を見直すことができる。体調不良を訴えられない人や病状の面から、何かと把握しづらい心拍数、呼吸数などは設定範囲を超えた場合の警告音などが出ることで、現状を医師へ伝えたり、ご家族様へ受診の勧めをすることができる。居室での転倒転落や落ち着かない人の場合、眠りスキャンEYEを使用し、眠りの状態、EYEの録画を見て、転倒の原因を探るなど、記録をたどり、眠っているかどうかや転倒の原因などが根拠を持って改善につながる。また、ご家族様への説明も紙ベースで伝えることで、日々の状態を伝えることができる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホーム桜坂  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	アメリア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

自動除圧で体位交換の時間を減らすことができた。除圧することで褥瘡予防や褥瘡になった人も治りが良いように感じる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

介護職員の見守り支援業務の負担軽減効果  
体位交換による入居者、職員双方への身体的負担の軽減  
入所者の安全面に配慮でき、リスク軽減ができた

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

必要な方には、2時間ごとに訪室し、体位交換を行うため、1日に12回訪室しているが、アメリアによる自動除圧を行うことで、体位交換のための訪室回数はゼロになり、職員の身体的、精神的負担が軽減された。  
入居者にとっても、身体に触れられることで起こされる問題がなく、夜間も安眠できている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

有線・ナースコールでのお知らせは、現場介護職員としては、手元でどんなリスクがあって、行動があって、検知したのかがすぐに分かりにくい。実際訪室することに手間時間コストがかかるように感じます。しかしエアマットレスという利点があるため、体位交換の頻度を減らす、褥瘡を作らないことで処置の時間を減らすというメリットは感じている。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 小規模多機能型居宅介護事業所桜坂  
施設の種別 小規模多機能型居宅介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

初めての泊り利用時に、睡眠の状態がどうだったのか、心配されるご家族様へ眠りの状況を印刷をかけて、書面で状態をお伝えすることができる。夜間、覚醒した時や動いた時にお知らせ音があれば、すぐにかかけつけ、現状を把握することができる。EYEを使用し、居室での動きを確認している。訪室すると驚かせたりするため、画面で確認している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用できないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 小規模多機能型居宅介護事業所桜坂  
施設の種別 小規模多機能型居宅介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	アメリア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

自動除圧で体位交換の時間を減らすことができた。除圧することで褥瘡予防や褥瘡になった人も治りが良いように感じる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

介護職員の見守り支援業務の負担軽減効果  
体位交換による入居者、職員双方への身体的負担の軽減  
入所者の安全面に配慮でき、リスク軽減ができた

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

必要な方には、2時間ごとに訪室し、体位交換を行うため、1日に12回訪室しているが、アメリアによる自動除圧を行うことで、体位交換のための訪室回数はゼロになり、職員の身体的、精神的負担が軽減された。

入居者にとっても、身体に触れられることで起こされる問題がなく、夜間も安眠できている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

有線・ナースコールでのお知らせは、現場介護職員としては、手元でどんなリスクがあって、行動があって、検知したのかがすぐに分かりにくい。実際訪室することに手間時間コストがかかるように感じます。しかしエアマットレスという利点があるため、体位変換の頻度を減らす、褥瘡を作らないことで処置の時間を減らすというメリットは感じている。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホームセント・ケアおおの  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

(眠りSCAN)常時使用し、利用者様の睡眠・覚醒状況、呼吸数や心拍数等を観察している。特に夜勤帯は、各ユニットに夜勤者が1名であり、巡視時はスマートフォンを携帯、スタッフステーションではタブレット端末やパソコンにて、状態観察を行っている。利用者様個々に、覚醒・起き上がり・心拍、呼吸数の異常等のアラームを設定して、通知音に合わせ、訪室し事故防止につながっている。職員間で口頭の申し送りに加えて、データを確認することで、利用者の身体状況や行動パターンを把握し、ケアの根拠につながり、多職種で検討を行うことができている。看取り期の方の急変に早期に気づくことや死期を予測することにもつながっている。(眠りSCAN-eye)上記に加えて、常時使用し通知に連動し、遠隔的に動画で居室内が確認できるため、利用者が何をしようとして、どのような行動をしているのかを知ることができる。また居室内で転倒等発生した場合に、録画機能を用いて、どのように転倒したのか事実確認ができて家族への説明、改善策の根拠となっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りSCANや眠りSCAN-eyeを導入することで、利用者様に対しては、骨折等の事故を減らすことを目標に掲げており、今年度も1件骨折等あったものの事故は減少傾向である。夜勤職員の介護オペレーションとして、定時の巡視を行っているが、業務削減を掲げているが、現状は定時の巡視を行い、他者の訪室の際に、眠りSCANの通知がなり、眠りSCAN-eyeを確認することで、居室に訪室しなくても室内や利用者様の様子を把握することで、巡視時間が削減出来て、夜勤職員の身体的、心理的負担軽減に効果があった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器を導入したことで、夜勤職員配置加算において職員の0.1%分に当てることができている。結果、残業時間の減少や遅番職員の終業時間を19:00～から18:00に早めることができた。特に夜勤帯において利用者の心拍数や呼吸数等を把握して、異常時にスマートフォンやタブレットに通知によって、①体調悪化の早期発見や看取り期の兆候を知る②ベッド周辺での行動を把握し早期に対応し事故防止につながっている等によって、職員の心身の負担軽減になった。また夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの利用者の中途覚醒が減り、安眠につながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

眠りSCAN-eyeの設定はPCで行う必要があり、操作できるのはPCできるのは、職員が限定的になってしまい、一部の職員に増えてしまう。研修をして、操作できる職員を増やしたい。停電時やネットワークが不安定の場合に、通信エラーになった時の対処方法及び代替方法についてはマニュアル作成して標準化していく必要がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 ショートステイホームセント・ケアおおの  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

(眠りSCAN)常時使用し、利用者様の睡眠・覚醒状況、呼吸数や心拍数等を観察している。特に夜勤帯は、各ユニットに夜勤者が1名であり、巡視時はスマートフォンを携帯、スタッフステーションではタブレット端末やパソコンにて、状態観察を行っている。利用者様個々に、覚醒・起き上がり・心拍、呼吸数の異常等のアラームを設定して、通知音に合わせ、訪室し事故防止につながっている。職員間で口頭の申し送りに加えて、データを確認することで、利用者の身体状況や行動パターンを把握し、ケアの根拠につながり、多職種で検討を行うことができている。看取り期の方の急変に早期に気づくことや死期を予測することにもつながっている。(眠りSCAN-eye)上記に加えて、常時使用し通知に連動し、遠隔的に動画で居室内が確認できるため、利用者が何をしようとして、どのような行動をしているのかを知ることができる。また居室内で転倒等発生した場合に、録画機能を用いて、どのように転倒したのか事実確認ができて家族への説明、改善策の根拠となっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りSCANや眠りSCAN-eyeを導入することで、利用者様に対しては、骨折等の事故を減らすことを目標に掲げており、今年度も1件骨折等あったものの事故は減少傾向である。夜勤職員の介護オペレーションとして、定時の巡視を行っているが、業務削減を掲げているが、現状は定時の巡視を行い、他者の訪室の際に、眠りSCANの通知がなり、眠りSCAN-eyeを確認することで、居室に訪室しなくても室内や利用者様の様子を把握することで、巡視時間が削減出来て、夜勤職員の身体的、心理的負担軽減に効果があった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器を導入したことで、夜勤職員配置加算において職員の0.1%分に当てることができている。結果、残業時間の減少や遅番職員の終業時間を19:00～から18:00に早めることができた。特に夜勤帯において利用者の心拍数や呼吸数等を把握して、異常時にスマートフォンやタブレットに通知によって、①体調悪化の早期発見や看取り期の兆候を知る②ベッド周辺での行動を把握し早期に対応し事故防止につながっている等によって、職員の心身の負担軽減になった。また夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの利用者の中途覚醒が減り、安眠につながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

眠りSCAN-eyeの設定はPCで行う必要があり、操作できるのはPCできるのは、職員が限定的になってしまい、一部の職員に増えてしまう。研修をして、操作できる職員を増やしたい。停電時やネットワークが不安定の場合に、通信エラーになった時の対処方法及び代替方法についてはマニュアル作成して標準化していく必要がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 ショートステイホームセント・ケアおおの  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	アメリカ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
見守り機器ではあるが、主にエアマットレスとしての機能を重視して使用を行い、褥瘡予防に努めている。使用する対象者としては、主に自分で寝返りが行えないあるいは、寝返りは行えるが、介助の必要な方かつ、臥床時間の長く、栄養状態の悪い等褥瘡の発生の危険性の高い方を対象として、優先順位を決めて使用している。場合によっては、ベッド上で体動があり、ベッドサイドから転倒又は転落する危険性が高い方を対象に、ナースコールと連動した通知機能を使用して、自らの意思を伝えられない方が足がベッドから降りたことを職員に知らせるという形で活用した例もある。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
夜勤職員の業務負担軽減することを目標の1つに掲げているが、見守り機能付きエアマットレスを導入することで、①利用者の見守りを補助してくれることでの職員の心理的負担軽減②体位変換を行う頻度を少なくなることで、利用者の睡眠を妨げない、職員の身体的負担軽減が行える。③褥瘡発生予防及び悪化防止である。①、②については職員によっては高齢の職員もいるため、負担軽減につながっており、腰痛などでの労災や休職等に起きていない。利用者においても夜間良眠されており、昼夜逆転や帰宅願望など行動・心理症状が増強するなどは起きていない。③については導入後に新たに褥瘡発生した方はいなかった。導入前に褥瘡のあった方は使用することで悪化せず、改善にむかった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
褥瘡発生の危険性の高い方や褥瘡のある利用者は、夜間帯に2～3時間ごとに訪室し、体位交換を行っていた。多い時には、1日に12回訪室していたが、アメリカによる自動除圧を行うことで、体位交換での訪室回数は減少し、職員の身体的、精神的負担が軽減された。利用者にとっても、身体に触れられることで起こされる機械が減少し、夜間も安眠に繋がっている。転倒の危険性が高く、ナースコールの操作ができない方に対して見守り機能を活用することで、ベッドからの転倒や転落予防ができ、骨折等事故が発生していない。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
ナースコールに連動した形での通知は、職員だけでなく、他利用者にも聞こえ、騒音となり不眠につながりかねない。他の見守り機器と同様に携帯できるスマートフォン等に通知することで、すぐに確認して対応できると職員にとってさらに負担軽減につながると考える。見守りというよりは、エアマットレスとしての機能に利点がある。夜勤職員負担軽減と考えた時に、自動的に体位変換を行う、体圧を数値化して自動的に体位を変換する等行えると、褥瘡ができず、体位変換や処置の時間を削減できると考える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 グループホームセント・ケアおおの  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

(眠りSCAN)常時使用し、利用者様の睡眠・覚醒状況、呼吸数や心拍数等を観察している。特に夜勤帯は、各ユニットに夜勤者が1名であり、巡視時はスマートフォンを携帯、スタッフステーションではタブレット端末やパソコンにて、状態観察を行っている。利用者様個々に、覚醒・起き上がり・心拍、呼吸数の異常等のアラームを設定して、通知音に合わせ、訪室し事故防止につながっている。職員間で口頭の申し送りに加えて、データを確認することで、利用者の身体状況や行動パターンを把握し、ケアの根拠につながり、多職種で検討を行うことができている。看取り期の方の急変に早期に気づくことや死期を予測することにもつながっている。(眠りSCAN-eye)上記に加えて、常時使用し通知に連動し、遠隔的に動画で居室内が確認できるため、利用者が何をしようとして、どのような行動をしているのかを知ることができる。また居室内で転倒等発生した場合に、録画機能を用いて、どのように転倒したのか事実確認ができて家族への説明、改善策の根拠となっている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りSCANや眠りSCAN-eyeを導入することで、利用者様に対しては、骨折等の事故を減らすことを目標に掲げており、今年度も1件骨折等あったものの事故は減少傾向である。夜勤職員の介護オペレーションとして、定時の巡視を行っているが、業務削減を掲げているが、現状は定時の巡視を行い、他者の訪室の際に、眠りSCANの通知となり、眠りSCAN-eyeを確認することで、居室に訪室しなくても室内や利用者様の様子を把握することで、巡視時間が削減出来て、夜勤職員の身体的、心理的負担軽減に効果があった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

夜勤帯において利用者の心拍数や呼吸数等を把握して、異常時にスマートフォンやタブレットに通知によって、①体調悪化の早期発見や看取り期の兆候を知る②尿意や便意を感じて覚醒する、トイレに起きようとする等のベッド上での行動を、早期に把握することで、早期に対応することで、事故防止や自立支援につながっている。センサーマット等であるとナースコールの音がフロア内に響き、他利用者も目を覚ましてしまい不眠につながり、職員の心身の負担もあったが、見守り機器を導入することで、職員の心身の負担軽減になった。また夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの利用者の中途覚醒が減り、安眠につながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

眠りSCAN-eyeの設定はPCで行う必要があり、操作できるのはPCできるのは、職員が限定的になってしまい、一部の職員に増えてしまう。研修をして、操作できる職員を増やしたい。停電時やネットワークが不安定の場合に、通信エラーになった時の対処方法及び代替方法についてはマニュアル作成して標準化していく必要がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホームIB  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

理解力や判断力が低下している認知症症状を有し、①転倒や転落事故防が起るリスクのある方②不眠や、夜間体動が多い方③看取り期或いは体調の不安定な方を対象者として眠りスキャンを使用した。対象者毎に、ベッド上での「覚醒」ベッドからの「起き上がり」体調悪化及び看取り期の状態変化の兆候である「心拍異常」「呼吸異常」等見守り方法を設定した。また、対象者の中で、動きをキャッチしたい方については、眠りスキャンEYEを使用し、情報をパソコンやスマートフォンで確認を行った。睡眠状態の把握、転倒転落の予防、異常の早期発見を目的に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知がなった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

見守り機器による入所者の心拍や呼吸数等のバイタルサインの異常を早期発見することや、ベッド上での睡眠状況及び行動を、モニター及びモバイル媒体に通知が来ることで、不必要な訪室を防ぎ、職員の心身の負担を軽減できた。結果、夜勤時の巡回時間の短縮したことで、ナースコール待機しながらであるが、休憩時間を確保できた。また何度も訪室することでの入所者の心的ストレスの軽減し、安眠につなげることができた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 小規模多機能型居宅介護事業所IB  
施設の種別 小規模多機能型居宅介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りscan+眠りスキャンEYE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 4 年 10 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

理解力や判断力が低下している認知症症状を有し、①転倒や転落事故防が起るリスクのある方②不眠や、夜間体動が多い方③体調の不安定な方を対象者として眠りスキャンを使用した。対象者毎に、ベッド上での「覚醒」ベッドからの「起き上がり」体調悪化の状態変化の兆候である「心拍異常」「呼吸異常」等見守り方法を設定した。また、対象者の中で、動きをキャッチしたい方については、眠りスキャンEYEを使用し、情報をパソコンやスマートフォンで確認を行った。睡眠状態の把握、転倒転落の予防、異常の早期発見を目的に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りスキャンeyeカメラを設置することで、眠りSCANの通知があった際に、居室に訪室しなくても、室内や利用者様の様子が分かることで、介護職員の見守り支援業務の身体的、心理的負担軽減に効果があった。また入所者の居室内での行動パターンを把握でき、早めに対応することや安全面に配慮し予防的に環境整備することで、ベッドからの転倒や転落等のリスク軽減した。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

巡回の時間をデータ化することで情報収集のしやすさや伝達のしやすさ、また生活リズムやトイレ誘導することでパット内排尿や放尿などを防ぐことができた。眠りスキャンEYEの画像を見れば、巡視しなくても、眠りの状態が把握でき、音で起こしてしまうこともないため、自室での行動把握、密室での事故防止に役立っていると考ええる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ネット環境が不安定な場合に、動画がリアルタイムより誤差となり、対応が遅れる。使用ができなくなることもある。介護ロボットの設置及び操作等の際に、機械が苦手な人、高齢の職員等が使用ができないことで、一部の職員の負担が増える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団登豊会  
施設名 仙寿なごみ野  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	テクノスジャパン	コールマットコードレス
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 9 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・パーキンソン病の進行によりADLの日内変動も多くなっている。特に夜間帯の転倒が増えている事から行動把握、転倒防止のためセンサーマットを使用
  - ・徐々に車椅子での生活に慣れてきたものの、ブレーキ管理や操作に関しては不十分であり介助が必要である。認知機能の低下からナースコールの認識は乏しい為、センサーマットの使用する。
  - ・病院を退院されなごみ野に入居している。移動時のふらつき等が見られる。また眠前薬の服用している為、転倒リスク高い。行動把握の為にセンサーマットを使用。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

目標達成率70%

センサーを使用することで、転倒リスクの高い利用者の居室への訪問を適切なタイミングで行うことができ、転倒防止に繋がっている。また、過度な訪問が減少したことで職員の業務負担の軽減に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・夜間の事故件数:令和4年度131件→令和5年度98件と大きく減少している。
- ・事故件数が減少したことで、夜間帯の事故への対応時間が減少。職員の事故防止への精神的負担も減少したと考える。
- ・他者介助中など離れた場所にいる場合でも、センサーを活用し行動把握することで落ち着いて介助に入る事が出来ている。
- ・新規入居者の行動把握に繋がり、行動抑制をすることなく事故を防ぐことに繋がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・防水でないため、汚染などがあると故障に繋がる。
- ・稀に少しの体動でセンサーが反応することがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団登豊会  
施設名 仙寿なごみ野  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	テクノスジャパン	ベッドコールケーブルナースコール連動タイプ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 9 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・パーキンソン病の進行によりADLの日内変動も多くなっている。特に夜間帯の転倒が増えている事から行動把握、転倒防止のためセンサーマットを使用
  - ・徐々に車椅子での生活に慣れてきたものの、ブレーキ管理や操作に関しては不十分であり介助が必要である。認知機能の低下からナースコールの認識は乏しい為、センサーマットの使用する。
  - ・病院を退院されなごみ野に入居している。移動時のふらつき等が見られる。また眠前薬の服用している為、転倒リスク高い。行動把握の為にセンサーマットを使用。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

目標達成率70%

センサーを使用することで、転倒リスクの高い利用者の居室への訪問を適切なタイミングで行うことができ、転倒防止に繋がっている。また、過度な訪問が減少したことで職員の業務負担の軽減に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・夜間の事故件数:令和4年度131件→令和5年度98件と大きく減少している。
- ・事故件数が減少したことで、夜間帯の事故への対応時間が減少。職員の事故防止への精神的負担も減少したと考える。
- ・他者介助中など離れた場所にいる場合でも、センサーを活用し行動把握することで落ち着いて介助に入る事が出来ている。
- ・新規入居者の行動把握に繋がり、行動抑制をすることなく事故を防ぐことに繋がっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・防水でないため、汚染などがあると故障に繋がる。
- ・稀に少しの体動でセンサーが反応することがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人墨友会  
施設名 特別養護老人ホームサンヴェール大垣  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	テルサコール
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
転倒・転落リスクの高い方、最低床ベッドの方に使用している。ベッドを使用されずに休まれている方(畳居室対応)にも使用している。日中、夜間とも使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
ベッドを使用されずに休まれておられる等、既存のベッドセンサーだけでは対応できない方があったため、センサーマットレスを新たに追加した。センサーの追加により、今までセンサーを使用できなかった方(畳で休まれる方)にも使用できるようになり、夜間勤務職員の巡回回数の削減ができ、精神的・身体的負担の軽減になった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
巡視や訪室回数が見直しができ、介護職員の不安の軽減、身体的な負担軽減になっている。利用者様にとっても、法室回数が減ることで、起こしてしまうことが減り、ゆっくり休んでいただくことができ、安眠につながっている。また、安心・安全に生活できる環境づくりを行うことにつながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
反応が良く、少し動いただけで鳴ってしまう。「起き上がり」や「動き出し」など、状態に応じた設定をすることができない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人墨友会  
施設名 ショートステイ花水木  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)モルテン	テレサコール
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
転倒リスクのある方や、新規の利用者で、夜間に動きや歩き出しが心配な方などに使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
マットレスセンサー導入から、一年半が過ぎたが、認知症のある方、ご自分で動いたり歩き出しが不安定な方に使用することで日中、夜間のスタッフの精神的負担の軽減ができ安心して日中、夜間の業務ができることで、業務に対しての不安や心配といった点が少しでも改善でき、安心して働ける職場づくりの1つにつながっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
センサーで対応することができるため、安心して業務全般に取り組むことができている。利用者の夜間帯の動きが、反応でわかるため、夜間の睡眠状況等のデータ収集にもつながっている。また、安心・安全に生活できる環境づくりを行うことにもつながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
センサーマット使用の利用者からは、マットれすがやわらかすぎて寝心地の点で声が上がっている。  
また、細かい設定ができないため、少し動いただけでも反応するため困るときがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 株式会社笑顔いちばん  
施設名 グループホーム笑顔いちばん各務原  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 12 月 22 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

昨年同様に夜間において各ユニットに職員が一名の配置時の転倒や転落の不安がある中、眠りスキャンの導入により夜間歩行不安定な方がベッドから起き上がりトイレなどに行く際に、パソコン・タブレット使用により起き上がり確認出来、居室に訪室し支援しながらの移動などを行っています。また体調不良時や経過観察の際に呼吸、心拍が見える化されていることにより、職員の負担の軽減常時巡回の必要が減る様に活用を初めている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

「ベッドセンサーを導入する事で常に転倒や転落を注視している職員の業務負担は精神的・身体的に軽減する事」を目標としていた。リアルタイムで転落・転倒を検知して通知する為、職員がすぐに対応ができており、現在は目標達成できています。また、呼吸や心拍が見える化できていることから、巡回時の職員負担の軽減にも活用できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

昨年よりも目視の見守りにかかる時間が短縮できるようになりました。また、利用者がベッドの上にいると睡眠の状況が把握できるため、利用者の離床を事前に予測しケアに当たる事が出来ている。常にPCやタブレットにも通知がある為、非常に助かっています。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

高齢の職員が慣れるまでに時間が掛かる事。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 特別養護老人ホーム光の園  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド株式会社	センサー付低床3モーターベッドと見守りケアシステムM2
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
22 台	令和 5 年 3 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・転倒や転落のリスクが考えられるご利用者様に使用した。
- ・突発的行動がみられるご利用者様に使用した。
- ・ベッド上で体動が多くみられるご利用者様に使用した。
- ・移乗時にアザに繋がるご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・ベッド上でのご利用者様の状態が把握できることにより、離床動作時に早期対応ができるようになった。
- ・ご利用者様の動きに合わせてセンサーの感度設定ができるので、ベッド上での行動をある程度自由に行っていただけようになった。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 ショートステイやまがた  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス株式会社	ふむふむセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
4 台	令和 4 年 12 月 22 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

- ※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
- ・下肢筋力が低下し歩行が不安定なご利用者様に使用した。
- ・認知症があり居室のナースコールが使用できないご利用者様に使用した。
- ・夜間や早朝の行動に注意が必要なご利用者様に使用した。
- ・コードを気にされるご利用者様に使用した。
- ・新規ご利用者様の生活リズムや行動パターン、危険行動の把握等に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

- ※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
- ・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。
- ・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。
- ・夜間に徘徊するご利用者様に使用したことで、他のご利用者様とのトラブルを未然に防ぐことができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

- ※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
- ・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。
- ・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。
- ・ワイヤレスであるので、ご利用者様がコード等を気にされず休まれるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

- ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
- 現在のところ、不都合点なし。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 岐阜県厚生農業協同組合連合会  
施設名 岐阜・西濃医療センター西美濃厚生病院介護医療院  
施設の種別 介護医療院

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	眠りスキャン
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 5 年 2 月 20 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ①吸引を実施している方や状態が不安定な方(看取り期)に使用している
- ②行動予測が困難で、転倒リスクの高い方に使用している
- ③24時間使用で、個々の状態に応じてアラーム設定をしている
- ④夜間の覚醒・睡眠状況の確認

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

転倒・転落リスクのある利用者が多く、入所定員56名の内、認知症等により身体異常時に意思表示ができず、見守りが必要な利用者が15名以上入所しております。さらに、夜間における利用者の生存確認、オムツ交換等による介護職員等の訪室の負担が大きいため、訪室回数の削減等による、精神的・身体的負担の軽減が可能となった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ①超音波センサー使用時は、ベッドから足をおろした時点でセンサーが反応しナースステーションにいなくてもアラーム音で知らせてくれるため、転倒予防や入所者の体調変化の把握ができる  
センサーコールでの訪室では遅い時があったが起き上がりで検知するため行動を早期に把握しやすい
- ②Nsコールと連動していない為、ベッドサイドでは音(コール)が鳴らないので入所者に影響はない
- ③夜間帯、覚醒状況を確認し入所者に合わせたオムツ交換が出来ている
- ④オムツ触り等で寝衣やシーツの汚染を繰り返す方に対して眠りスキャンで体動(覚醒)が確認でき早期に対応出来、業務負担軽減につながっている
- ⑤看取り期の方だと分かるようにアラーム音を決め、体調変化に早く気づき医師・家族への連絡が出来対応できた。
- ⑥心拍や呼吸の変化で入所者の体調変化(発熱、吸引が必要等)の頻回の訪室や起き上がりを検知し転倒予防での見守り等、スタッフの負担軽減になっている

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

医療機器の監視装置に比べ、正確性に欠ける。  
センサーの断線が頻回にあるため、修理が必要になる。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 特定非営利活動法人 すずらんの木  
施設名 NPO グループホーム すずらんの木  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)テクノスジャパン	サイドコールC(増設セット)
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

トイレに行こうと何度か起きられ転倒のリスクの高い方に対し、夜間と昼間の臥床時に毎日使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

サイドコールはベッドのへりに装着するため、センサーマット等と比べると比較的早くに利用者様の動きを把握できた。また感度もよいため他の見守り機器よりも安心感があり、職員の負担は軽減された。

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

サイドコールがあることで早めに利用者様のもとに駆けつけることができた。不要な居室への訪問を減らすことができた。職員の負担は軽減されており概ね満足している。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

寝返りにも機器が反応してしまうため、何度も様子を見に行くことがあった。サイドコールがズレることがあり、反応しないこともあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 特定非営利活動法人 すずらんの木  
施設名 NPO グループホーム すずらんの木  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株) テクノスジャパン	タッチコールC増設セット
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

夜間は何度もトイレに起き転倒のリスクが高い方、昼間の臥床後に混乱される傾向がある方(同じ利用者様)に毎日使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

タッチコールはベッドの手すりに装着するため、センサーマット等と比べると比較的早くに利用者様の動きを把握できた。また感度もよいため他の見守り機器よりも安心感があり、見守り回数も減った。職員の精神的・肉体的な負担は軽減されたと言え、目標は達成できている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

タッチコールがあることで不要な訪問を減らすことができ、一人で夜勤をしている職員の負担も減った。利用者の睡眠の妨げとなる要素を減らすことができた。介護時間の短縮にもなり満足している。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

つかむ場所によっては反応のしやすさに差がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 特定非営利活動法人 すずらんの木  
施設名 NPO グループホーム すずらんの木  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)テクノスジャパン	超音波・赤外線センサーK(マグタッチ・クランプ付き)
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 12 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

夜間は何度もトイレに起き転倒のリスクが高い方に毎日使用した。昼間の臥床時にも使用した。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

赤外線センサーは感度がよく、安心して使うことができるため、職員の負担は軽減された。一方ですぐに反応するため、何度も居室を訪ねることがあり、身体的な負担の軽減とはならない時もあった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

早めに利用者様のもとにかけつけることができた。また、赤外線センサーがあるという安心感から職員の負担は軽減されており満足している。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

利用者がベッド上で起きられたことをすぐに把握できるようベッド上に向けて使用した場合、センサーの位置の調整が難しい。布団が動いただけでセンサーが鳴ってしまったり、離しすぎると反応しない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人和敬会倶楽部  
施設名 特別養護老人ホームふくろうの杜  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	テクノスジャパン	コールマット・コードレス
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 4 年 11 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
7台は離床時に見守りが必要な方のベッドサイドに設置をし、昼夜問わずに使用をしている。  
3台はトイレ前や居室の入口などに設置し、行動を把握のために使用をしている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
個々のニーズに合わせた場所にコールマットを設置することが可能となり、安全とプライバシーに配慮した支援が可能となった。また夜勤帯でも職員が一人体制であるが、行動把握により転倒、転落予防に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
夜勤帯は一人体制で20人の入居者さんに対応しているが、ベッドサイド以外の場所でも設置ができているため転倒、転落事故や所在把握が可能となり介護職員の精神的な負担軽減を図れている。  
羞恥心が強い方や認知症状によりナースコールを使用しない方でも見守りをしたい場所に設置ができるようになり入居者さんの自律や安心に繋がるケアを支援できている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
特になし

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人美徳会  
施設名 特別養護老人ホームビアンカ  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 5 年 3 月 22 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

虚弱な利用者が多く、特に看取り期にある利用者の睡眠状態把握を行っている。1週間以上の継続利用で夜間の睡眠状態パターンがわかるため、頻回な見回りが不要である。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

職員の精神的・身体的な負担の軽減を図る目標に対しては、一定の軽減が図れている。  
転倒・転落のリスクに備えるための整備を目標としたが、レスポンスが遅いため、虚弱の利用者の巡回回数削減にのみ使用している。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

夜間の訪室回数を、1時間おきに行っていたが、2時間ごとに行うことができている。台数が2台であるため、大きな削減ではないが、看取り期にある利用者の状態把握には効果があると、評価が得られている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

高価であるため、要望はあるものの台数をそろえるのに躊躇している。  
利用者の状態がモニターに表示されるまでのレスポンスがもうちょっと早いと、離床センサーとしても有用になる。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 株式会社すまいる  
施設名 グループホーム住ま居る 記念橋  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りスキャン
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 5 年 1 月 26 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

使用は日中の静養時、夜間の入眠時の使用。固定の利用者様に使用  
離床センサーの運用により転倒、転落事故を未然に防ぐことのできた事例が何例か確認できた。  
睡眠状況のデータより日常生活のリズムを整えるケアプランの作成ができた。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

コンピューターをリンクさせることにより認知症の利用者様がベッド上より離床され転倒・転落を未然に防ぐことができた事例が何例か報告で上がってきた。  
眠りセンサーによるモニタリングにより、ケアの必要な時間帯、見守りの労力を減らし安全の確保と介護労力の軽減をすること繋がった。  
コンピューターの導入により、時間に余裕ができ、よりよいケアを行うためのミーティングの時間がつくれた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
認知症の利用者様のベッド離床による、転倒・転落のリスクが回避できた。また、離床センサーによるモニタリングにより徘徊による転倒のリスクの回避にもつながった。  
眠りセンサーの記録によりケアの必要な時間帯や見守りの労力を減らし安全の確保と介護労力の軽減につながった。  
睡眠状況のモニタリングにより利用者様の睡眠状態の把握につながった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

センサーの通知より動きの速いご利用者様がみえるため対策が必要。  
雷などで停電した際は復旧までは利用ができないため対策が必要。